911.3
7

春官稲荷内沿革類

清風舎撰

天 点六 山洞　地 五〇 竹酉点　人 五〇 吉秀

当分　小川　蝶　萬分　昇秀　唐播

当分　秀人　風流　清丹　花蝶　秀以

○五点の部

[illegible]八海り [illegible] の面 ヵツミカ　吉梅

[illegible] 月 [illegible] 日和や [illegible] の峰　吉之

[illegible] の [illegible] 海の果二　吉寿

[illegible] 山の根　吉志

[illegible] 赤門 [illegible] 雪の華　吉長

[illegible] 杜若　吉

[illegible] 八幡 [illegible]　吉克

[illegible] 出 [illegible] 手や [illegible] 谷の松　道

月影 [illegible] 鴉　道作

夕汐の [illegible] 子　八示

清 [illegible] 御 [illegible]　示伯

[illegible] 日 [illegible] 中 [illegible] 富丘ヒヒ　八示志

[illegible] の [illegible] 一

[illegible] 年 [illegible] の [illegible]　一蕪

夜 [illegible] や [illegible] の [illegible] 代 [illegible] トミサワ丁

[illegible] トツカヒヒ

[illegible] の音

[illegible]

[illegible] 卍ヒヒ

月影の [illegible] 仲 [illegible] 千 [illegible] 加藤ヒヒ

夜遊の部

月影 [illegible]

[illegible] ヵツミカ

[illegible]

右二 全 搭 半 全 花 舞 書 室 山 鴉 方 全 西 清 東 敦 技 討 [illegible]

今 拾 [illegible] 二 [illegible] 文 清月 女 [illegible]

権の屋 吉亮 二拾 [illegible] 光 [illegible] 珠 跡の京 山子

要湯大津屋樓
掛額四季發句集

催

槇園

希言

降りもせで雪よ追ふて春の花　琴壽

六巾の[illegible]

[illegible]井ケ[illegible]くや[illegible]　手牧

[illegible]月[illegible]　旭齋[illegible]　山[illegible]

[illegible]

[illegible]七[illegible]

[illegible]川窓の

月[illegible]　[illegible]

梶の家[illegible]

天　[illegible]

地　[illegible]

人　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　判者　[illegible]

惟草庵撰

七印

水の中行通ひの色の花ゝくし川　卍里　三ノ　浅　菁

咲先に面を見せ夜の友望ゝ　隅川イ安芋　肋　东

人をまつも浅く見え花川　拾　永安誰ノ　暉　霞

浅戸ゑに串ゝり雛の日の春の面　卍里　六ノ五　雲

縁の色ゝ秋の行をも花ゝ桜ゝ、　七ノ卅　如　英　面

縫を繍いてけふの行中の藻、　五ノ　継　堂　鈞

家とゐのさゞめく登る籬、　武東里　墨　玉

山さうさ宿出る片肉にも　雅　文之浦

浮出して行ゝ巣の雲の面

網掛て庭ゐ家に霞の鐘　玉兎里

十印

蒔せ浅ゝにゝ黄のし　柳家く　霧　長

人のゆく小さく人く鏡　摩　鍋　七ノ卅　面

秋を人の巣の紅日ゆふ行し　日九、　精　寿

旅行の行ゝふゝまゝ花ゝき守　スルガ丁　英　旅

こゝふ出て夢のと雲の夕月くに　柳香　野　生

それ節の川を花とりの枝空ゝ　三ノ五　雲

料理種梅ゝきまゝゐ氷ゝり　文之浦

柳家庵撰

六印

有光舎八扇子撰

七印

渦の中の花も行ゝ渡のゝ叢ゝ　卍里　仙　林

春の柳の池ゝ行の秋の色さゝみ、　弁　登

秋のくの色も衣ゝ女に足ゝの葉ゝし　嘉　長

惠身を寒鐘の行も夜ゝ柿木、　三ノ　五　夕

ゝ梅くに掛ゝ行ゝも清く花ゝ夜　旅　月

行ゝ先の宿にさゝゝ夜　三ノ　栖　东

夜浮ゑの花の露利る夜ゝ　高孫安

惟草の中に行出来く人通ゝ　香　山

春の行を渡ゝ画く秋行水　壽英子

梅柳のゝも手保ゝゝ口の男通し　三ノ　清　浅

菊のゝのゝゝ日来ゝ日に時　ヨコアミ　二ノ　通　智

渡戸悪にうゆく家も春の面　在　雲

牛をゝ家の上にゝ辻角力　皇　翁　一　如　英

秋の雲に出日の縁ゝ木曽　卍里　竹　壁

柳ゝゆゝ秋の行ゝ宿の色　三ノ　暉　霞

鴨浮も旅くに浮くいゝ雪　七ノ卅　清　浅

志宿にゝ行ゝの行の雪の岸　伊賀上野　柳　枝　面

花とぶゝ帰の田植を休む色　歩　卅　面

花とゝ行も宿の京の山

在まさ庵の帰浮ゆ株のゝゝ

七印

浮しゝの夜ゝのゝ花のゝの　五　雲

一星舎去舟評

[illegible] 馬蔵

[illegible] 桂園

[illegible] 可仙

[illegible] 夕

[illegible] 之

[illegible] 智

[illegible] 遊

[illegible] 旭

[illegible] 松

[illegible] 自仙

[illegible] 之

[illegible] 二

[illegible] 其

[illegible] 一

[illegible] 寿

[illegible] 山

[illegible] 之浦

[illegible] 枝

[illegible] 言

[illegible] 桂園

[illegible] 去舟

[illegible] 仙

感光

安永六丁酉年 十月十六日開巻

淮孚庵評　天（十吾）五雲　地（十七一）竹甸　人（全部）文之輔

番外（十ロロヨリ五五ロマテ）

精寿　銀古　美被　哉生　暉露

柳枝（上町）　幾童　五雲　黒水　柳枝（伊賀）

柳水庵評　天（〇〇六）嫡美　地（五〇六）希言　人（十〇六）清渓

番外（〇五六ヨリ五〇〇マテ）

清渓　適智　五雲　銀古　眠月

一路　柳枝　暉睦　緑匝家　静

月光舎評　天（六六五）竹甸　地（全部）竹賀め　人（六五五）一村

一星舎評　天（〇五六）山旭　地（ロ〇六）竹二　人（全部）竹坨

要湯大津屋樓
掛額四季發句集

催

槙園

汲美

希言

惟然庵録

七印

春の千鳥の岩くゝて川　卍岩　之ノ　湊鶯

此先小角を見れ花の友　深川イ在寺　湖東

人をまつも活て古川　拾　永楽寺　乙ノ　睡霞

須戸恐小牢る條の花　卍岩　六ノ　五雲

持ち来まゝて秋の山小櫻　七ノ　竹白

鐘鐘く行く小手きて州に葉　如英

山きらも寄るもの　五ノ　統童

家ひつ布きも帯も自小も　武本里　雪

修出して行くる　稚玉

網様え度る家のにる蝶　玉兎岩　文之浦

十印

舞も活を小さる　赞りし　柳家　露長

人の乃りいふさくし　七ノ　竹白

秋をう朱の秋自ゆ　月九　精寿

故行も行小　スルカ丁　英踈

出て出て勢の雪夕　柳高　数生

ひろ筋川を　三ノ　五雲

料り種様くまみぬかり　文之浦

六印

心光舎八扇子録

十印

納屋の戸を明れい流るゝ霧哉　卍岩　仙林

更明も油行りの秋のたそかれ　斧之

秋さもたるかに霧哉　露長

重良き實様とて行く床　三ノ　夕

行く先の白水さか夜　白

行の蚊くれ神の夜　弥安

惟まやも行く人通り　山

永ら汲画く秋の水　寿英子

縫見りを行きの男通し　三ノ　清湊

当りの如きて来るゆかり時　ヨコアミ　三ノ　逸翁

須戸悪小行ゆく家や春の白　五雲

牟まの上手く辻角力　如英

物をやりれ秋の行や藤の花　空孫庵　一路

秋空小出図の棒うく未有　卍岩　竹屋

鴫鳴も捧て　三ノ　睡霞

出る夜小千に行の雲の峯　清湊

たやまる明も田植を休むる　七ノ　竹白

存て　伊賀上野　柳枝

存其年の帰り　竹白

涼しさも一ゝ行　香のさら　雲

やまかつら人に稀なり也星の梶　馬　哉
秋桜也七鈬寿の松ゐり　桂　園
松高の時門秋也たのもしき　卍坐　松　英
いつも笑ぬ葉もある　星ノ坐　可　仙
朝がほやはや露に戸なる　三ノ、　也　夕
得るろちは明らし月の床下寫　三ノ、　也　夕
涼しさや灘越ゆて瓢　三ノ　椛　之
風流聞をたゐしのふに月　卍坐　三ノ　了　古
月八也菊積に立まさ茶屋　遊　哲
秋の森の秋るかなの夜　松川坐　孫　遊
みの月也のかはいさ込封杖　松川坐　休　月
人のすゝめて人なる秀絲鉛　サルエ　竹　印
花時也是く見る時の一と力　タワラ港ノ　美　松

一星舎去舟辞

六郎
浮世や夜にあゝのも帽の白に　折坐　松　仙
いんけいを近よする柳しな　城　月
咲満て桜井枝に急りたり　三ノ　椛　之
降ちる来る友半さてはいきた　演　蕉
人さらの数業がし寸藤市　三ノ、　竹　二
本首に出まさ也に見るの時　秀　湖　东
路先の春に来ちゆいきる夜聖る

然松也々かはに二羽来し池の鷺　二ノ　紹の宏
見霧の森に寿る法串しは　カスミ坐　呉　竹
住吉りに花突く々り菖蒲草刀　ツくミ、　一　蛍
とちゝゆまの手楢さしし実角力　精　寿
あまちくに森きてゐの頼乞田植皇　丞川京坐　山　旭
松今年の雲にちりて月見の雨　卍坐　竹　埴
網されて夜ら家よりとくる脱　文之浦
更の首に巻りていり大晦日　小松坐　松　枝

○
梅檀の二子葉芯郁舞に松蝶　僊主　桂　園
兎頂の帰る時月花咲の門　蘭英
色墳や松のくきりにみ松の表　生玉文　希　言

○
あまたも芦ちて星のとり出　出保　八兵子　去　舟
此よの影に枯て月か利

○
戯老
さみれぬ紀々をきもらの日　惟　学

○
去ろ花に散る月の道し宗清なり　仙　石

嘉永六丑年　十月十六日[illegible]

雁字庵評　天十五 五雲　地十七一 竹旬　人全 文之輔

精寿　気也　美枝　松生　暉雲

番外 十四〇ヨリ 五五〇マテ　柳枝　雅童　五雲　雪水　柳枝

柳水庵評　天〇〇六 鳩美　地五〇六 希言　人五〇六 清渓

清渓　逸哉　五雲　気也　眠月

番外 〇五六ヨリ 五〇〇マテ　一路　柳枝　暉暁　緑通家　静

月光舎評　天六六五 竹旬　地全 竹賀め　人六五五 一村

一星舎評　天〇五六 山旭　地四〇六 竹二　人全 竹境

進呈

春霞のかゝりてしら家

庵さり丸

野月庵
蓼蔵

竹也

野月庵追善悲哀三句合

柳水庵評

天 六百五 嘉甫 地 六百五十五 不猶 人 六百四 樵風

雲鈍 何 去舟

位五句之部

水きよき家のうしろや夜の霜　同上　旭風

ちらちらと帰る灯の影し鳴く鶴　丸兆

さむ雄さへ打締む小家の風　去舟

夜寒さや手ずさみに池の新しき　玉かつ

初雪の家の朝かけて蕎麦湯の新年の　嘉甫

乙ゑんに弟惜しむ鈍好こゝろ　英

花菜の中のこゝろしからんむかう　清

枝をきりて枝さへつゝやおもすれ　石原　清

家影をとらふ人跡ふしゝかし西吹　荷也　芦菊

松ちる風やうしの声々嵩　カメ　由之

時雨のそら今寒やあゆみ山　同上　豆

湖をひらくふところのしる雲　月

果のちらき雲の打ち声や田子花　同上

うちさきや一夕帰る雲の庵　氷魚　清月

あき花の雨のうしの松すの庵　相生丁　曲

同し林にうたる草鞋ふりゝ　同上　翠

床の松の庵の宿子墨色ゝ　ゝ　亀之

夕山や朱の南部申わるゝ家　ゝ　紫燕

新妻や木のきの就寝の又明し　ゝ　仙水

私子めけるしくむめ見ふ　辰

長堤庵評

天 五百五十六 桃山 地 六百四 黙長 人 六百四 宗和

芦洲 鈍阿 其三 三巴 呈山

(right column text) 聲くもる歌の雲やはるの雨　松女

ものしを流く結ぶつゝなゝ、　柳之　かゝ女

嶋のけはりては紙ちやし　方孤

待ちなれの夢を見て追悼扇のれ　巴之　宗孤

一つ歳しなれも江戸にて庵　山

だきしめてお涼を惜しむ　三支

つらなりやいつは夜のあき　サル江

萍をかて雨し　

六十字給

さしみとまに帰る井あり柱家　卍之　桔園

生花織に情にしく嘉の高満　紫蕉

寒泉の寿い二百のはかほ　玉知　喜南

薫をとるやうの宗や統の家　文稿

夕影や深い潟のさし衆　京月

畠の貝殻きしさら子釋の山　石不　沽阿

位五句之部

錦子ゆへかなの名雲かな山中　英哉

をし数よそや夜て涼し端の常　玄

ひめ百合や曹影の系　行

裏をこして澄まう十宝一家　宗　東

うきて直に羽風も雲りも夕　武ノ杉山　桂峰

月星の影より風や一色の山

みよそに隠しやむ松の色　梅　錦風

海かけの中よ坂のおく出替り抗うれ
水画堂

瓶の縁[illegible]ちや[illegible]杖[illegible]風

蓮を[illegible]もそ[illegible]やの[illegible]

月よ[illegible]ある[illegible]生れつき
九坂丁

[illegible]やきやそ人[illegible]日の[illegible]寺竹

蓮桐やおしま[illegible]日の[illegible]
巴色

皈时や[illegible]蔭子留

[illegible]時ぶ

夫[illegible]ひの[illegible]見てや[illegible]
水画亭

[illegible]けの[illegible]の月[illegible]
相生丁

[illegible]付て日の[illegible]夜の字

[illegible]や[illegible]池の西

[illegible]見の[illegible]鬼文
松坂丁

[illegible]やこる月[illegible]れ

[illegible]小[illegible]の[illegible]
巴色

[illegible]日の[illegible]小[illegible]

墨の[illegible]梨の[illegible]

小[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]
松倉丁

[illegible]の[illegible]中

出る[illegible]神[illegible]や

一[illegible]七月子

[illegible]の[illegible]ケ

秦の[illegible]

掃[illegible]
水画亭

[illegible]の[illegible]

三 乙 乙 星 乙 其 蓮 乙 一 井 [illegible] 乙 [illegible] 竹 乙 湖 [illegible] 山 玉 山 [illegible] 法 [illegible] [illegible] 方 [illegible] 宗 乙

蚕の[illegible]風の中[illegible]夜の月

[illegible]も[illegible]風[illegible]の中

六[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]越る山の[illegible]

[illegible]や仁王の[illegible]

[illegible]の雲

建[illegible]寒[illegible]日[illegible]

[illegible]の[illegible]

九[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]女[illegible]

[illegible]の[illegible]

蔭[illegible]度の[illegible]の

[illegible]女の[illegible]

[illegible]や我図雨[illegible]

[illegible]の[illegible]夕[illegible]宮[illegible]

[illegible]の[illegible]蚕の[illegible]

二 乙 良 玉 陸 去 乙 竹 松 新 [illegible] 松 宗 乙 清月 [illegible] [illegible]

當日兼題

其月亭評

天 六五 一亭

地 六四ノ九 九帆

人 七 京月

六[illegible]

白[illegible]紙の[illegible]

[illegible]の[illegible]

川[illegible]の[illegible]

出[illegible]蕪子[illegible]

九 [illegible] 一 いろ [illegible] 月 [illegible] [illegible] 帆

一 杉月
麻布

つ

燈ともし頃は茶屋の夕かな
面白さはむかしのまゝの月
鶯や柳にかゝる月
夕暮や柳の露の糸
萍月や見えかくれ
雲や独りの枝の声
それぞれの月毎の名
うらむすまじく二年
とも〳〵に緑やなん
深山しんやるべし

つ

さくら咲き笑の顔や
松の月一夜の川
ちらぬもの人の夕
清き夢の声ちらしさ

つ

旅に経ても一夜の友

つ

風雅なき夕

仏心能有れ

有明二亥年四月開巻

おそ
ふみきめ
みきめ
花さめ
ひさめ
道女
さめ
越めに
識ゆめ
一杉月
去人
辰女
柳松
瓢雅
子遊
仙路
午来

当季混題月次句競発会

木耆菴選評

天 旧池 口六七 地 孤長 口五七 人 仙鳥 仝

十句の銘

旅衆描く地や 諸ともつのぬ良 鶴之屋
家うつ人を任あれぬ為の 草作多 孤長
甲遊斗 撰者所於 い有り嵐 仙鳥
撰くのしき 稀成し出来に 雲免 英
惑りし やしまよ 詠まり 多分の 蛙 旧池

霜柱菴宗匠選評

天 杉酒 口六七 地 花夕 口五七 人 五梅 一七七

十句の銘

岩の香や 西し 今の 春 柳 犬堀 梅趣
若風や 柏子よ 冰 酒 耕 杉酒
ゆきの 花 蔭 花 帰 五梅

招果て湯の見ゆる廣野かな　公　花夕
海笑の錦水仙さみすたみ見、
早速ハ、垂所ふしゆかり鷹、　仙鳥
鶏やうけ錢研く岩やりかの山　蒼古

○

星霜や深きにしてぞ唉拂ひ　去舟
樹の葉人写す鎌にきて雪の嶽　補監　吉人
霜風や鬱ねさ雪か柳の香　孤長

○

行きかふ世渡る月の気が付よけり　企　蒼古

○

鞍蓋手鶴の鳴や雪の駅　木者菴　湖十
是より田鶏鐃宗都の夕時雨　霜柱菴　應稲

寒の月もるゝは函の声ゆかし事
仮寝子入る庚るや故ま柁
さきとアるゝかハ寺きりあらゝきん
禄ぬいて来てもんせりり寒の月
岸や水子由ゝ恵こて其の唉く　緒石
大名乃先ん纒川や深くら寺
子子子や双亭下けた未折やり　大さン丁
住り紗く塚座一さんのうくぬ
舟の古ゝく方ら上中や高山並
川上ゟ深む灯一ッ渡りけり

○五平ノ部

下ゆくや名をかき川の二蒼　草門
經ゆくや雁ふ渡りし雨の声　外ヶ公
降うやのうる赤らく横や峰の夢
おかまゝる田へ行まり杜若　相生丁
山麓乃地へ向りて遠子曇かさ　草門
乳若ひ乃投子かり　織
諸子を登る山路や若清水
深醤らふ是のかくよ草しるら　ヨシハラ
冷しさや夕ぬと流る石燈籠
茶雁の散りさむ寺の葵こ事　卍レン
うらんテ子庭の裏しきのさね
慕くま甍加茂の月殊を庚から
赤玉干しける山路や栗の毛　十五軒レン
糸治ゝ子雀はゝ面白くけり
舟深らふ飛日晴や深ゝまゝ寸
常葉香や古風ゝ渡る宮遠ゞ
行て見や臭斉治ゝ家の溪
峯低る手やきゆ冬の海の上

○丸　井通　、青　一九　○英　一イ　也山　、山　貴浅　蟻湖　可湘　月国　柳蘿　花洲　菊友　吉雪　琴風　兎波　、笑　仙園　静今　大英　桂イ　古　一　也　、

長谷寺へ笠[illegible]

六中ノ部

[illegible]

[illegible]

蟬[illegible]

[illegible] 卍レン

蟬帰やそれ[illegible]椎の[illegible] 維

集君

[illegible]

[illegible]

仙

催企

海の[illegible]吉田[illegible]

古今

清月女 鶴賀 人圓 松雨 松仙 花国 吉加 可安 英美 桃壽 春長 馴通 一貫青

飛紵 吉人 仙鳥

柳水

柳水叢評月並句合 酉十月分秋季之

天 六〇五 秋 松仙 地 六 ませ女 人 六〇口 花夕

番外 孤長 貴山 孤長 琴友 仙鳥 六五〇ヨリ〇〇五マテ

五点の部

[illegible] 鶴高

[illegible] ませ女

[illegible] 卍レン 子遊

[illegible] 芦洲

[illegible] 仙風

[illegible] ヨシハラ 琴友

[illegible] 琴白尼

[illegible] 柳多 亀雪

[illegible] 柳江マ 吉暮

[illegible] 卍 松雨

[illegible] 不二尺 大川居九

[illegible] 雷

[illegible]

[illegible] 卍

[illegible]

[illegible]

しぐるゝや時雨もれたる夕あらし　星、
小す日馬てかゝきる野ゝ寺の里　柳菊、五式、
夕しぐれ伏見の寺も寺ぎり
時しらぬ耳に立道ハ千里に
雨志みる舟あし雪の十三里　卍、
柳多ゝハ見ときらをきる夕納　東き、
岩株子星のきぬ川くおゝ茶筅子
活胃解も切出す菊の難ゝ香
おもひ川まゝ陰をもし菊の難ゝ香
ゆふ中汁ちゝるゝのや油の香
縁り菜路のきしうねる耕理ゝな　柳菊、
詩のまの給仕に出たる十夜かな
本乃ゝ汁に裸大見ゆる祈るゝ
添し捕へ出をかゝきる手拭巾に　星野、
夕附るさらして釣せし足袋か
風呂のまゝ見して掛け蒲葉に　卍、
吉寺の草あるさ枯れる且暮　
千枯やあらハ子め寺
山坂口や入日掛こむ花に露　卍、
桑葉らちゝり帰ふや帰きの夕暮ゝ二
幾もちも松茂も松子に歩の月
辺手動き出せ小あるたる小春ゝ
路さ待つと杢て能ゝ千々香ゝ
沼出ゝ舟の路子居出る千々香ゝ
石仙乃衣ゝ冷たし雪炉の縁

位のア

姿本郎ハ跡も仕出いれ鳩くの鍋
きの沼や合をかちの川きかひ
淋気子追まて来たりやゝゝ香

貴山　松仙　金文　東柳　いせ川ぐ女　呉礼　まゝえ女　まゝせ女　子遊　留女　孤書　琴友　梅美　鬼重　義月　大川居　雷丸　一清　一青　かきくー　金史　一紫水　ゝ巴　両鶴　芦翔　まゝ女　ませ女

集木の絵口おそしおくれ手もち
稲羊をうらか日向や帰りそゝ
貝売のゆゝる家からゝ帰るゝを
ゑをふしに栗飯来しやしらの寺
楼台乃手入して巡る紙衣かな
鞍柳に通りて松ゝら姿さぬ
枕臼の目立て仕舞や石藤の宿
言ゝ乃出ゝ尚ゝし言ゝの帰
榾の宿所ハ所ゝいろはらな
宮桜や瀬直したる紙子物
重乃萩あらくハ所ゝ積りり
宿引の空をかたらし時雨ゝ
為きの出に洗井を見せて新ゝな
羽ゝしもや富士焦る茶の白ひ
ち川夏の見ゝぬ雨をと月影ゝ
纏出る夜や明るまで扉ゝ
夢まらゝ衣返子衣も宜僧
竹箸乃油白ゝや榾の宿
かきたゝる捕へあらし鴨の声　柳菊、押上

六印のア

雑魚汁の味噌榾足すやゝあま
扉子をいくるまるる蚤を紅葉かな
魚淵をゆらゆく流れ夜葉ゝる
下流るゝ乃筆入り積る花ゝ　外ヶ浜
蚤らゝぬ鷲の大桶や出らる二
岩本あしく帰る法やゝのするか
茶乃花や社え移りゝ畑の端　大伝馬丁

留女　孤長　若友　鬼重　ゝ　裁居　大川　若ゝ　松夕　仙鳥　紫水　汁砂　子遊　仙鳥　汁砂　雛鶴　雨鮭　五雁　鶴屋　まゝせ女　可哭　松仙　鳥雪　飛蝶　孤長

さく／＼まで鶴も縫ひは秋の留守　鶴店
溢しさも冷入るまでなり麻の露　ますや女
初時雨濡て披し小袖かな　ろゝ女
山茶花や一日出来る女風呂　テ松仙
構の座要く人の宿へ移りけり　花夕
洗ハ後ニ呆保任ニ鋳構大いぬ　英
手入えぬ枯井の濡しむ落葉　貴山

○

寒月やかけ出るのらふなり　吉人
冬ごもる人喰ぬ人鰻たくはり　仙鳥

企

軸

泥なからも咲く花のありく浅草市

判者　仙路

六印

杜ちゞの如夜かり雲聯まひさる香　五雲
滝ろさぬむ起てるうつゝや玉の川　回龍
手紙書ヶ目覚て雲しきりくも　去舟
まさ子さろゝの翁は梅みぬ香　字遊
百まなるを分まて月の出ぬくうかな　魯雄
加へまるはめて夜書く炭の日福　いつゝ
平殻ふ扇子一ふ退ろく社ゞこのな　琴月尼
ちろ桜くぞ咲ぬやうあり枝の花　長承
名来ころや手段うらね搭回り　田舟
自在いう嵐桜ちゞのあるのゝ紙　仆此
うらさしては隣る衣戸口や瓶一の春　盛扮

（連、、、、、／梅坂丁／実西連／テ川／浮世ヒ）

風也坊撰

天　十五口　花扇
地　仝　夏睡
人　十五口　花翁

畨外

七印

星水　三種　不覚　青々　梅柳

衣やうすし噂て通るや月のこなり　沢川　翠松女
村時雨夕日のさいやうの隣のうく　、　雨声
守お前くさうおる帯し夜の庶　桃連　雅邦
岩の茶のまう書て分り露ひ　、　不覚
眼のまゝ川にさ黒般にか初しくれ　、　青々
一帰を白つる、見さる牡丹の邪　若漢ヒ　星突
嫁不隠る花の古本や鳴いとく　、　星笠
とめ出やまう行のこゝる杯の萩　久蔵ヒ　テ玉九

麦と家の付く寸つ夷浜中哉　吉
出宿や被たしつ見し　小境竹
素摘の光へ思ふや　麦刈ら
橋折て見も空し　夜の下結

千印

武庫山もわらひ付たり　蛸葉　橋
山中や放きらふ之ある村哉　月
あけ付ち　ほとゝきゝ浜小夜時雨
家草や　人の宿の後へ振てゑち
一八やほめとならぬ　畫ての雨

、麦蒔ことりや後先て　なし　長　不

、ちま降や拭てものこ家作口の抄
旅屋の月柳を移を結ひたり
枝切るや松も月夜は楚へらさまく
振垂しさ暁字し　鳴千鳥

○

郭公すつ夜をゑらく　鳴ゑ　結
極われ灯風を放出て　あきたり
家梅ややうく若葉も　橋版香
花ま出さ連て　俚言沙千就

霊西ヒ　李仙
下や　松須
二ツ目　一句知
黄雪
石京　寄扇
比花レン　庭子
旭レン　花翁
出レン　夏睡
若浜レン　呈水
浦助　不竟
俚　吉舟
魯楳
圭　出栃
吉之
惺芳
柳之
秋秀
掛之　甚長

一星舎掛額四季掛替

不學堂評

天 五〇六 風来人　地 五五六 仙鳥　人 五四六 八重女

番外　柳風　晴風　瓢也　去芳　一の笑

六、亭三郎

向日葵は秉を見れり　木日月　柳糸
拓数きて縁くさ我をも参れたり
邪見くろらうたる月の村のゝ　梅也
かきつけく新舟さうす庵守ゞ
今ゝ試くる秋狗え節はむ　林のゆや　東翁、
魚つゝぬ　孤まひし　絵乃川　北魚、
岩り赤やきちるう木まれ加栄　柳袁、
合歓の葉は以うきさうし　ゆふの月　外ヶ濱
菊の浜せまつれて　梅ぬ都れ　正圭
刈て河る草本て　涼る早さりれ、
目覚れち月日さもれへしまれ、
雪の月降てら新く末かりけり、
夢の玉河節りけせ恭の今も、
ちう浜と涼る面知るれや古芒、
舟静かくきす　借ひきうし芒　梅、
諸浜笠ま白萩の音　静しけり、
夕不二や世分の浜の投ひきの、
遊萩や面そうち川ふ風の音、
掃くとめふ川の行ふれ　粟桜ひ、
ちえつきうて笠の寄すきる　む勝る、

○

若盤来へ目を仕先たり夕都紫　梅者　宗孤

柳去昇八重梅子柳兒何仙東女柳風来曾子高喋いろ去
紫芳月如岑東菜雪笑鳥雑人風楼花丸風は舟

碧庵評

天 〇六 西府　地 五〇六 柳風　人 六〇六 晴嵐

[illegible]

一西 左府

[illegible]

松樹庵評

天 〇六 明月や　地 四六九 柳風　人 [illegible] 瓢雅

いろは

[illegible]

評者 芦洲

柳風　青[illegible]　仙鳥　去[illegible]　枕[illegible]　丹

一碧舎掛額四季掛発　句員六百本余

不学堂評

天 五〇六 秀外　地 五九六 仙鳥　人 四五六 八重女

風来人　柳風　晴嵐　瓢者　去葛　一の笑

六印之部

[illegible]

評者 宗孤

柳紫　去月　昇め　八重　桜子　祝東　可[illegible]　仙笑　東鳥　近雑　風来人　柳風　魯桜　子松　高丸　晴見　いろは　去丹

碧庵評

天 六六六 西府　地 五〇六 柳風　人 六〇六 嘆兇

[illegible]

一左
西府
彭条
寿楽
之之
木蓋
記雲
柳風
魯雄
佐兇
嘆兇
何笑

松樹庵評

天 〇六 明月　地 六〇六 柳風　人 六〇六 瓢雅

[illegible]

評者 芦洲

[illegible]

柳風
青柳
いろは
仙鳥
桃唯
去丹

柳水庵評月次酉七月分

天 六〇五 兎雪　地 六〇五 梅子　人 六〇四 芦洲

番外 有竹　白鵞　寿山　柳凤　千影

[illegible]

柳風
栽く
千有
有竹
子
[illegible]
松
去
之
[illegible]
古
一
一
千
[illegible]
[illegible]
梅子

末枯や障子のさしさき山乃寺　卍、
棹やお互日乃粗蒸るところ中　英室
三日月や没しも留る舟まくら　月丈
独乃森の燈ん勝し　香のこゑ　七十　文居
みその井に子が石は後なり桐一葉　三千女
ゆふされの待つめで来るや下駄　寿　[illegible]
手に峰や室よりさき中の[illegible]、　雀　[illegible]
笠の花や石[illegible]ちる[illegible]　[illegible]
斗升来雀子鶏も秋くや秋の月　柳[illegible]、　蝶[illegible]
露しくまし[illegible]鴨[illegible]きれ[illegible]　千山
道の奥座て会入出て[illegible]煙草のむ　[illegible]
散み夜や白む葉やかさり[illegible]　子[illegible]
茎[illegible]市子秋のこて[illegible]ある[illegible]　卍、
人[illegible]上[illegible]松の[illegible]や[illegible]　桜、、
行くの稲や夕日[illegible]居の月　[illegible]
いまさよさ[illegible]かり[illegible]秋の風　古
会[illegible]のくろ[illegible]のても[illegible]　[illegible]
菊乃[illegible]や川八[illegible]の露の[illegible]　柳[illegible]、
わかうる[illegible]笠竜の稲の[illegible]　[illegible]
僧[illegible]上乃家弧[illegible]一[illegible]の月　[illegible]
川[illegible]臼の[illegible]止如[illegible]竈[illegible]　古生丁
撫でん[illegible]の[illegible]漆[illegible]　[illegible]
あまの[illegible]中みよく[illegible]　笑[illegible]、
むさ[illegible]乃[illegible]も秋の[illegible]　凌世、、
是[illegible]竜出てかう[illegible]秋の[illegible]
日[illegible]上[illegible]追[illegible]　五弐、
元[illegible]を[illegible]この[illegible]
世[illegible]安[illegible]貢の[illegible]、、
岩[illegible]あ[illegible]江[illegible]ひ川中の宿、、
行川[illegible]秋の[illegible]の[illegible]、、
淵や夕日乃[illegible]一[illegible]の[illegible]、
帰[illegible]や[illegible]の[illegible]秋の[illegible]
[illegible]渡て雨を[illegible]秋の[illegible]　吉ハラ
萩[illegible]暑さ[illegible]の[illegible]
実をむさを[illegible]草の[illegible]秋の風

英室　月丈　三千女　寿　雀[illegible]　[illegible]　蝶[illegible]　千[illegible]　子[illegible]　[illegible]　古[illegible]　[illegible]　[illegible]　子[illegible]　千[illegible]　千[illegible]　花[illegible]　雀[illegible]　鶴[illegible]　室[illegible]　[illegible]　柳[illegible]　花[illegible]　金[illegible]　白[illegible]　有[illegible]　[illegible]　[illegible]　琴友　寿山

住ノ部

執[illegible]月の[illegible]や[illegible]　柳[illegible]、
晴[illegible]や[illegible]奥[illegible]　[illegible]
川[illegible]や[illegible]の[illegible]
森乃[illegible]の[illegible]の[illegible]　外ケハマ
行[illegible]の火[illegible]の向[illegible]雨の[illegible]
牛[illegible]の向[illegible]
法[illegible]のの[illegible]
秋風や[illegible]の[illegible]
畑乃[illegible]も[illegible]馬山
[illegible]たてま[illegible]乃[illegible]や[illegible]
月[illegible]山子[illegible]雨の[illegible]　柳[illegible]、
[illegible]かう枝[illegible]や[illegible]の[illegible]
几[illegible]を馬[illegible]あり[illegible]角力
[illegible]や[illegible]
[illegible]子[illegible]菊の雨[illegible]
[illegible]の一人[illegible]
松[illegible]や　石[illegible]、油たに
[illegible]子[illegible]の[illegible]
出る[illegible]迄[illegible]扇[illegible]　明[illegible]下
[illegible]桐　卍、
[illegible]や[illegible]の小[illegible]の[illegible]
送[illegible]中の[illegible]
[illegible]馬[illegible]花[illegible]
[illegible]梅の[illegible]
[illegible]の秋
[illegible]の[illegible]　卍、

柳風　千[illegible]　人[illegible]　可[illegible]　松[illegible]　[illegible]　一[illegible]　一巴　松[illegible]　[illegible]仙　[illegible]　千東　月[illegible]　[illegible]　菊[illegible]　清和　[illegible]月　[illegible]生　松仙　[illegible]　[illegible]　梅子　去舟

塩竈や送人おくらせし山の道　苫沙

秋ハ又青ミ[illegible]ち刈たる[illegible]の[illegible]　龍高

[illegible]起まと[illegible]く[illegible]の[illegible]　峰月

[illegible]川の流や[illegible]　春山

六印ノ部

桂沢を尋ぬる道や中の[illegible]　有竹

花もさき[illegible]香待の[illegible]　兎亭

[illegible]日の雨[illegible]　梅子

[illegible]浦の仲[illegible]　樵山

蜩や[illegible]の[illegible]年[illegible]　子枝

[illegible]門の内[illegible]菊の[illegible]　一巴

[illegible]細の[illegible]風　花國

生[illegible]魚[illegible]仙[illegible]　緑柳

日[illegible]山[illegible]里　苔洲

[illegible]秋の[illegible]　飯山

同[illegible]おも[illegible]　白鷺

踏[illegible]花の[illegible]　集者　花[illegible]　緑柳

[illegible]人乃[illegible]

看経乃一[illegible]の月　催主　吉人

芭蕉や果乃見[illegible]家　仙鳥

軸

梶の葉[illegible]　仙路

柳水庵宗匠月次発句組

天　六十三点　一青

地　六十四点　花国

人　五十点　鬼雪

番外　花国　真砂　作イ　清円女　山旭

五印ノ部

[illegible]　遊

[illegible]　いつき女

[illegible]　清月女

[illegible]　月湖

[illegible]　山花

[illegible]　櫻旭

[illegible]　鬼夕

[illegible]　柳雪

[illegible]　雀湖

[illegible]　春踊

[illegible]　月露

[illegible]　祐文

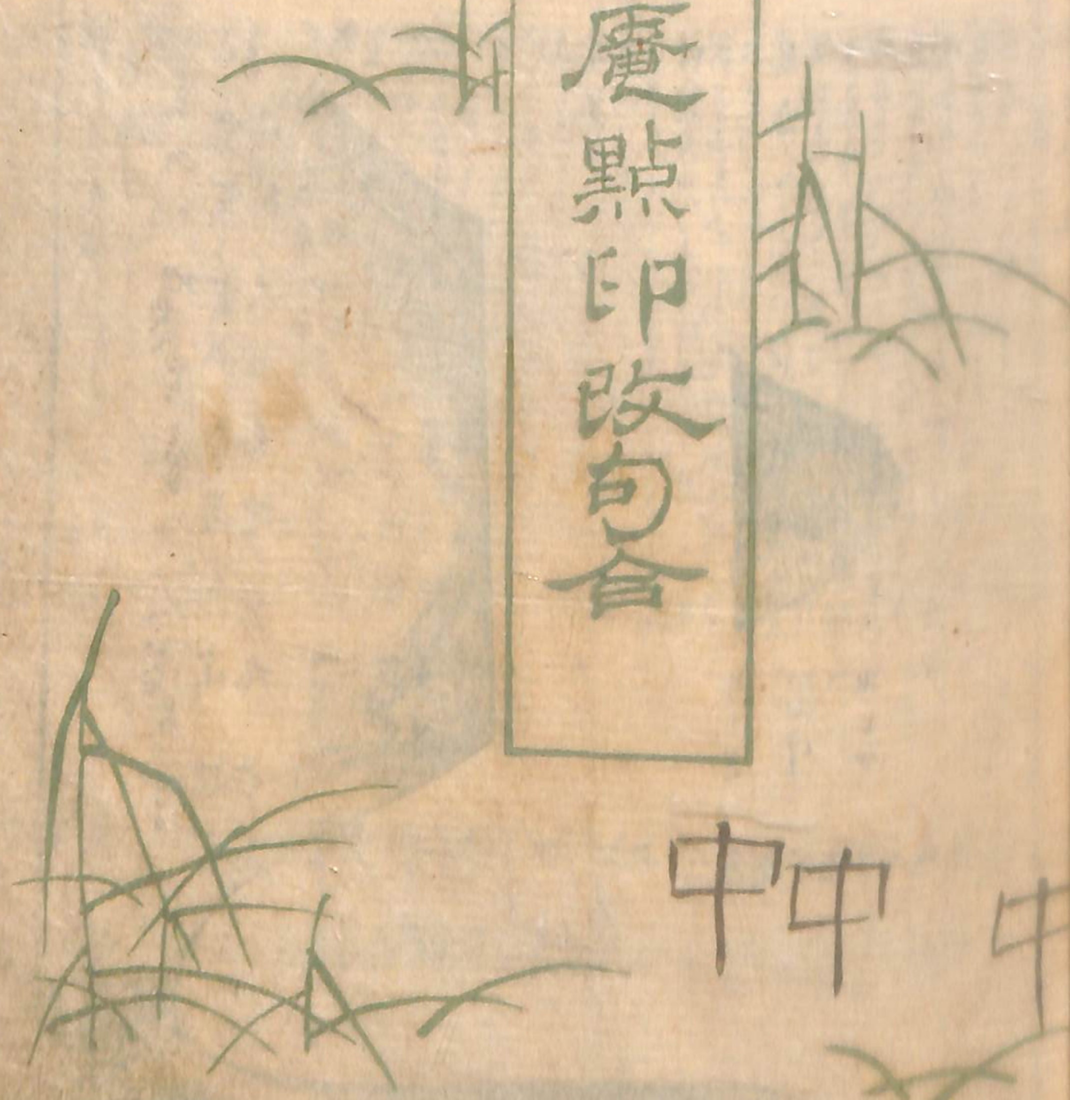
[illegible]　暑波

[illegible]　壷衣

[illegible]　瓢長

讀てけふる榛名は山や雲の杉　東翁ヒン
自らが植し苗もゝ手入休みに
手ぬ人も垣根つくりや麦の角、
浦の舎移村乃千朝子帆のかり、
言ふ安の忘れぬうし火虎もの
昼の板や高くはゞる椎の實
まとろふんや一ッ蕨ても萩の動く
蚊乃井へ廉乃る網の陽ともろに
すいしさ子乃へ舟ら乏しき秋よひ星
昼売や泡の淀ねん夏簾の舟
出しみの着子ゆせたる花火かな
川を越蛇もありけり雲の峯
飛退て宿ろつ人ま屋る麻の子ろかな
せうゝ鳴や入日すゞしる夜のいろ
馬洗ふ帰子喜ぶ扇かな　吉ハラ
稲妻や芦の園につゝ鳴の立り　水魚ヒン
但一葉こ落て夏乃日けしかな、
このんころる剝も雛々の雪るかな　七五三チヒン
旅鶯ん龍の法く結ぶや行くかな　卍連
紅濃乃退きさ日比咲く蓮かな、
らけつろの常に拾るか富士詣
凡秋やあまて花くるる笹かな
秋乃雛雅子の深しろ囲ひけり
燕巣積む日は落ち行や羽根る、
人あらうちのみこるかる喜ぶ氣かな、
蝉かくやあつく下ほと風の鍵る、
あゆの田子の泊りて五月雨　トミサワ丁
沼川て渡を舟あり通し鴨
嘗せるよ見上る佐保多時つ哉　大テンマ丁

松仙　蒼柳　半森　ラ義柳　清月女　雀賀　山旭　兔壹　人玉　雀踊　月雪　花國　半露　吉柳　琴友　宏月　静波　雪生　貫山　芦湖　宏月　梅波　雪生　三仙凡　貴山　槙園　飛蝶　テ、　テ古今



如雲廬點印段句合

夜飛混乱之句合

如雪庵評

天六六七雪　如　地五六七雪之旦　人四六七の内

如　嬰賀　雪山　李唐　一渓

如　冰岱　天風　香煙　光丸　如濡　沽業

六京ハや

ちりくと押出した（や蝶しらん　砂川

夜来立浪の叫へ積さかいりうり、

いつめしき階の坊行や初嶋　両国

牡いかかくりと低ハ家まさく　赤坂

紋宮いうつへる霊のをまつる

ささよしい岐ぶ階の我うつれ日　千代田レン

かり遊び藤はさく花の小出　砂川

ほうくきし郎ハ人のをやしさ、

狩氣の蛇え追かけし夜　鮭

森つうれぬ後ふ打や時、

さきれてハ又すれまふ尺の寓

明花若紫み水てハよりの川　藤森

あしいやいつと浴ハ空のほ

二夕えるけしや小る々の腹う流る　堀下き

花わりのこるか積ありよ東の高

大切な梅を枕まぶる森汁

さきくしくて子のさきそう梅餅　小石川

さきさとの山下ふるかりやおときん　卍レン

取りしる中望の大きな池うり

魚上るあくのるうり中下さ、

吸方いてる新行く夜さ

馬渓やし綜つとぬ仰つ、　小ハヨレン

桐花まとく仰やか秋の清

菊花や々くとき秋の松

一、雲窓　遊渓　塔　居　高　春　芙蓉
花うつゝ　摘　柳之　桂梅

茶　青　蛍　和　如李
梅　賀

九如　木蘇　九喜　永泉　雨的　序

美しうハ咲かけふとし人　初秋色

禅寺せる君も花や夜もきの宿

京箱や世ことふいとき人の咲く

雪花の哀とに消てる　郷うま　三ハンケ

御ミしい冷しくささうかり　葉蘭　待夜レン

鬼丸や氣葉るの葉の不出ぬ、　堀

影落のうまつふ秋さきぶ　中ワ二丁

新鉄やひよく白き不二の山　いこ丁

高寅のかりきる旅の　未載　月蔓ヒヒ

櫨るゆふうしるいせぬ鬼女　之下

晴菊る不二の、秩鉄や雨

妹をまつ川多を君鍛の挿かう

沖のせぬ姿す、いんよ夜遊雪の

実生うハ松けましせうや

見る肉ら凉しく松外の夕　クモモト

奈まなうてる冰たをさき男、　イテハタ

牌西の眠とす夜明てこ夜出ふう　野の島

秋のの風雅ことしやしてる川　拾　小石木川

それうふ生くして声ふ帰や夜花

くうへまて西ぶきまつうさう、　小日向

けしちうし人も姿の城意

深よさか十京の中しかくれ

淋しさの欲は松月にしう袖　子白レン

雪の崖　出花ても衣下月す、

木々を深つりしてゐれ秋の西

雅まさく夜深のかりやまの葉　本所

鴛ゝて中祈しし雨の余木を浮　白塔

樹の中や極の流にて叱しぶ

七月ト下

我か秋を子に畏ひれ行つきいつ

空みとかへしや月日ゆり

深の静まる工夫もうりの網代かる

まてさしまあうそこの物て夷やし

一米　不風　水西　雪香　翠笑　立山

里　浴芝　彩岱

、、、

喜次　川喜　艸川　香　瑄　、雨　宜宜　、う　雲　室

唐彦　錦　藻　相様　月受　月肉　玉　状

李如　楼芸

序　的　青　山

[illegible]

宗鳥

天廿四 庵 撰

梅青 李席 地 冝交

翠賀 册西 人 仝

秀逸ノア

青嵐 有恵 於川 如酌 仰[illegible] 登[illegible]

[illegible]

[illegible]

遊

天之 庵 撰

[illegible]

天 地 人

李席 亀杞 天鹿 [illegible]

[illegible]

一 [illegible] 笑浪青 [illegible] 天[illegible]

[illegible] 笑井山 [illegible]

清輝庵月並

[illegible]

天

百夜の帆も名残すむ縮の花　　清吉　梅英

船の氷船て霞むり夜の月　　葉者　表竹

あきつすゝし壁のさむみの笑哉　　佐土　青李

秋の蝶白きいとの初見よ　　桜之尾　鯉叔

ぬ事のすゝしや戸中子行脚
艸の戸十風給するゝ一席　　足高庵　雪山

桂付て帰しさ寺川や園の和　　竹芝　青竹

清輝庵評　戊申五月分

天 口口七 嘉祝　地 仝ツ 巣雲　人 口六五 華一酔

外 柳庵　佐竹　峨月　雪生　酒楽

佐之部

凡を武者お[illegible]やゝ时[illegible]　桜逕
[illegible]乃[illegible]風涼し　四夕
垣ら[illegible]の[illegible]宿　八重
夜ハ[illegible]时　桜笙
壁[illegible]蝸牛　酒楽
涼しさや[illegible]山乃[illegible]　青井
[illegible]　佐竹
もの[illegible]舟の[illegible]　峨月
[illegible]月[illegible]　英
おひわ[illegible]月　里
麓一[illegible]田植唄　晩雀
昼か[illegible]通雲　東
凡わさ[illegible]峠代　沢居
風[illegible]田代　桜浮
故屋[illegible]逢魚　友
稲[illegible]　洞皮
涼しさや風[illegible]　松路
蓼[illegible]煙や[illegible]　雪
[illegible]　花
[illegible]や[illegible]笄　竹九

六印

[illegible]松の皮　桜中庵
[illegible]の[illegible]　蒹酔
[illegible]貝[illegible]風　遊不
眼を[illegible]の[illegible]　亀毛
凡ル力[illegible]の[illegible]　記雲
[illegible]時[illegible]　里雀
[illegible]の穴　林凡
[illegible]西代　赤辰
月も[illegible]代　沢浮
[illegible]手[illegible]　柳庵

戯吟

[illegible]　仝 巣雲
[illegible]時[illegible]　嘉祝
[illegible]　一ゆう
[illegible]二日月　大笑

條日庵松遊評　兼題

天 六五 国九　地 〇乙 〆ゝ　人 五五 相嵐

秀逸

[illegible]行[illegible]　〆ゝ
[illegible]　秀
六印
[illegible]川[illegible]　九

不易斧評　運生

天 キ三ゝ 泉　地 甲ゝ 酒楽　人 三九ゝ 国九

正五、

偕る方を後の世としかもあしハ　ヒカル、輝凡

秋立つの〳〵あき葉さへ菖水そゝ　東居

ちれるゝは是非酒ふく立場ハ　キ采、泉、

子規鳴や性直そいしまらひ　、酒楽

香着まつ椿哉しゝ遠くり

六下

花表かしこちら〳〵ひゝ〳〵日傘ハ　サクラ、橘里

登名山乃をちこち揚り郭公　カメト　松雨

蝶り挙ゝ手まと掃ゝ手悪代　泉

冒亀帰也橘田つもの清く　酒示

〇

あけ見てに梅見もてなしる戸口哉　月番催　泉

梅子や古風の家乃柿梅子　杢遊

えりもぬきふみ出でて大半哉　不易庵

恋ひの撓をいふなり競馬　清輝庵

清輝庵月並三

柳崎ゆかん月次高評 清瑆庵撰 己酉七八両月分

天（四十五）風兎　地（七十五）昇月　人（四十六）仙巻

番外　梘月　昇月　三巴　桃人　峨月

浮舟　酒泉　仙鳥　松雨　如風

住之部　交季混

元おろし秋しく根へはらぬ竹の波　〆魚上ミ　楓月

[illegible]月[illegible]扇　、　畳巴

竹下[illegible]　、　二ノ龍

[illegible]　柳シマ　山巴

[illegible]秋　對る　如旭

[illegible]風　卍、　木凡

[illegible]　柳シマ　玉恵　去三

[illegible]月の光[illegible]　楳、　文善

[illegible]芝乃[illegible]　、　四福

[illegible]　、　楳食

[illegible]　ドキ、栄、　楳重

[illegible]　、　玉遅

[illegible]　赤サカ　酒友

[illegible]　小川丁　三ノ丸

[illegible]　三ツメ　纈楽

[illegible]　中川　机

[illegible]　、　琴人

[illegible]　本町　凡静

[illegible]　木杉、　琴兎

[illegible]　木場　井頑

[illegible]　江戸　挂

[illegible]　琴丸舟

松風舎評

天（五十六）桜夕　地（四十）吉山旭　人（五十五）桜酔

兼題

[illegible]　若狭　八　我重

[illegible]　七ツ印　浮月

[illegible]　　松舟

[illegible]　　栄雨

[illegible]　上サ　会

[illegible]　柳シマ　三ノ　松内

六印

[illegible]　　風兎

[illegible]　　山旭

[illegible]　　秋山

[illegible]　向シマ　五柳

[illegible]　オレ上　桜栄

[illegible]　楳、　二ノ　令

[illegible]　、　天王　桜香

[illegible]　柳シマ　昇月

[illegible]　カメト　柳松

[illegible]　仙花

[illegible]　柳シマ　昇　二ノ　月

[illegible]　桃盛

[illegible]　如風

[illegible]　二ノ　風兎

[illegible]　山旭

[illegible]　桜夕

[illegible]　秋風

清狂庵評

天六〇一 柳月　地五〇四 桜栄　人五〇五 四重

[illegible]月ふ又揺く小座へ　柳月

月の[illegible]をおく[illegible]る[illegible]　狂凡

[illegible]接通句

曲りかき[illegible]乃[illegible]やかゝ[illegible]月　桜栄

風[illegible]の[illegible]の実て[illegible]子[illegible]　柳条乃月舎

[illegible]蘆[illegible]　桜々里

静々舎子畏斧

[illegible]会[illegible]の雛　桜々里め

[illegible]

人 秋の[illegible]の上州厩　水のや萩月

[illegible]杯

地 [illegible]柳[illegible]　桜仙

天 捨小舟[illegible]の[illegible]　月番 竹光

[illegible]の舟

[illegible]月[illegible]　静々舎子

風[illegible]　松風舎

月[illegible]連る　清狂庵

雪月花叢句合

不学堂評

天六六 芳雨　地六五〇 芦洲　人六〇 熊手　西 弥生

秀逸の部

錦木も深き[illegible]の門　卍連

[illegible]川[illegible]向く[illegible]

鐘乃[illegible]雪の[illegible]

[illegible]雪の命

津[illegible]風乃雪

[illegible]

大[illegible]日[illegible]

[illegible]雪の[illegible]

[illegible]雪の門

乙由喜子雪乃[illegible]

[illegible]雪[illegible]

東翁連 清草 / 芦洲 / 其由 / 如龍 / 柳凡 / 熊手 / 一潮 / 東離 / 嵐年 / 芳雨 / 雷時雨 / 古瓢 / 豆助

柳水葉評

天六〇四 有竹　地六〇七 瓢長　人六 佽水

秀逸の部

月並句撰

玉兎連

花乃影や雲を席下の掟かさ　玉兎連　有竹
ちり落や三林浣紗絹ほうし　下谷　貫巣
鼻先に乱らんの字ちしや茶の雨　瓢長
おひくに暮るゝ山あり遅さくら　浅艸　欣水

孤山堂評

天　七五点　テ子遊
地　全点　テ鴬巣
人　六　茂瓶

秀逸七印の部

まゝしよ見も橋の有る日の月　玉兎連　テ子遊
風寂のひゞかる構や后の月　卍連　鴬巣
一つ夜ふ往退みも早し月就会　柳風
月照し出たるも霧の晴光　亀沢丁　茂瓶
志みじみと席を降すゝめの月　錦八

再考十印の部

椽橋やゆらりと浮りや三日の月　奥ヒロサキ　馬中
面白さを泳きし月の雲　卍連　仙鳥
ねるさかと見る新也夜の月　櫻レン　櫻夕

○

積もるや木の葉散るる声の声　仝　吉人

軸

雪吹門見流は白の告わる　判者　宗孤
さゝ落やしまく秋胡麻るみ　傑
よい町夜をぬるる月見の京　卓郎

彩暦萩揃

天 又○ロ一 尾 地○ロ○ 表 雅 人○ロ五 楷亭

當分 二楽 亀月 櫻里女 [illegible] 亀林

位五点ノ部

面白の[illegible]山子に[illegible] 赤坂 赤楷
[illegible]秋[illegible] 仝 [illegible]
しつ[illegible]蓮の[illegible] 仝 [illegible]
[illegible] [illegible] [illegible]
[illegible]て[illegible]の[illegible] [illegible] [illegible]
[illegible] 松甫女
[illegible]の声[illegible] 柳 [illegible]
[illegible]の[illegible] 二 [illegible]
[illegible] 仝
[illegible] 仝
[illegible]川[illegible] 萋 雅
[illegible] 紙 [illegible]
菊の[illegible] 仝
[illegible] 櫻里女
[illegible]月[illegible]萩の上 [illegible] [illegible]
[illegible]風[illegible]秋の雲 [illegible] [illegible]
秋風[illegible] 月 [illegible]
[illegible]月[illegible] 仝 [illegible]
面の[illegible] 空 [illegible]
[illegible]の春 [illegible] 一 風
千 [illegible]
[illegible] 東 [illegible]
[illegible] 素 [illegible]

[illegible]秋の[illegible] 仝 [illegible]
[illegible] 仝 松
[illegible] 部 [illegible]
[illegible] 仝 [illegible]
[illegible] 亀 [illegible]
[illegible] 亀 [illegible]
[illegible] 表 [illegible]
[illegible] 仝 [illegible]
[illegible]月の[illegible] 亀 月
[illegible] 仝
[illegible] 文核亭
[illegible]秋の[illegible] 芳菊女
[illegible] 亀中
[illegible] 彩松

位五点ノ部

[illegible]の[illegible] 二 楽
[illegible]の[illegible] 春 [illegible]
菊[illegible] 志 [illegible]
一[illegible] 能 城
[illegible]の[illegible] 泉 雲
[illegible] 一 風
[illegible]の[illegible] 亀 [illegible]

位六点ノ部

[illegible] 蘭 [illegible]
[illegible] 亀 友
[illegible] 蘭[illegible] 黄 光

静寿庵撰

天 五一 五 后　地 七口五 松甫女　人 仝 楳里女

番外 君光 寿白 亀友 文福舎 月秀

得所にさらする雅月や一ノの秀　寿筵千年の部　下宮

田よとする雅とつゝき東山子ト

一ト本萩か〳〵もうふ色の部

及ぶるいろ〳〵のひろや淡の秋

打らけさ投もり取り手捏かな

取すまを取れ取秋の取さうト

押しゝまし踊りすみあるや秋の関

待せて産と浮舎の月又一部

桜狩や知らてく河流さ盛　玉秀ヒン

相撲句合 三番 楳里女 補助 秋月 撰

投しまひて是君の出る角力かな　淵 [illegible]

秋風や耳はのこりし海の音

村芸の内から頭りすゝ見あり

しらぬや防派の提灯のある門

柳ちる雅にさみすゞや舟の辞　補助

雨なくや狩にゝかうし山家力

やま行の出てまと鳴る迎や月の月　月常

このれいふぞも渡りを秋の見

秋の子何をか抜ん露の科　其拝 / 撰者

文福舎 文峯 春雅 亀月 菁栄 文福舎 彩松 三葉 三好

立后 葉志 扇雲 月明 寿亀 立 文福舎 君光 山彩

申八月抄會

三

四季見立

相撲句合

文哉菴評

秀逸七印

[illegible]

千雀
仝 眠
仝 解
みよ女 坛
柳 貸
舟の 鯆 月
鬼 哉
呆 生
水 仙
一柳 枝
柏 目出女
雪 九
野 咲
橋 丘
水 桂
一吟 芋

葎堂評

秀逸正五印

[illegible]

若葉の戸や中の忌日の家根也　　松島
秋の燈雛泣て油皿きれて啼蛙　　寄鶯
蝶は氷降のうへ行く虫ら寄り　　山里
斑舟来て衣替つくらふ女かな　　祢貞
友を呼ぶ猿の崖白し秋のくれ　　新雲
星こゝろや一ト月くれの夕まぐれ　　狐買
花橋の香や星妹の宮大工　　雛長
たうみの法会夜鋳て見や風の葉　　舞九
気世の片戸は重し雪の宿　　柏輔
猿の鳴く家しあらにしに　　乙の家
末か雁寄のくらみやそら紅の雲　　柳代
此村を地も雨ふるや出羽の宿　　空生
あなうしはし菜摘衣はな家舟の　　峯山
約束をやうもにて麻のへ　　五吾
わがこゝろ来て是はまら咲て五つの桜　　柏舟
まつ氏のき家中の雪の聲　　貞枝
桜さくや旅の泊の小たし　　野九
門の松を待ちかね宮くの井　　燕双
五月雨や花蹊の燗新もを見む　　一遊
夜あかるの声も客ふ卯餅出来　　文菊妙
高嶺の一本かうへる菖蒲かな　　豊女
まつ雪や小笹の柱の傑つ柱　　漢山
冬の河岸や鍋の眼いまだ活て行る　　之吏
笠かゝ良う吹雪白し冬の月　　二

夢のゆ衣は濃き鋳堂この舟
量類の一番宮を遠からし
来雨の覺めるやおりの中
鴬歌に禅てまみえ行雉声
川蛾の足をくの白ふる精汁哉
涼しさや塩花毛を吹け風呂上り
多濱の鯛は涼ぐる家この舟
花照らすのうなる家や紅の花
山をめで初めふ通りやまさう海
風やおのし本のる山の井戸
魚つまり終てもちし鳥が巣や水の隈

　　空　　雷山人
　　唯　　風
　　松　　翠
　　盛くの　了
　　溪　　主
　　山　　里
　　自　　雪
　　京　　橋
　　志くの
　　二　　外

　　　　空六印

　　　　　　　　　市谷
明けゆく星秋しつかに白きを立　　みどり屋
秋の種寄引ひくや千里　　祢秋
湯泉に浴す衣のうへ上る沢の躑躅哉　　兎月
新宅の中や新畑の出る紀あし　　柏の家
実入の戸の雪は澤する女どの舟　　野芸
宿引と燈ゑもし行く自見か寺　　麻遊
明二重のよまれてる哉くんし標の燈　　　下毛見光
　　　　　　　　　　　　　　　　　　碌膳

　　　　感室

明けゆく千鳥を鳴くも輪ゆる踊哉　　柳生
あなう出ぬし旧恩は遊ぶ尽し稲の比　　自守

雪堂評

秀逸五印

咲てちる桜の工夫や二の替り　千雀
芝浦や朧一おろす帆のあと　吾川梁連　柳池
降て来る宿す雪ありまゝの雪　中ノ江　湖風
まつ宿の須广の春見や千鳥　八染、秋露
先伊勢よ[illegible]ひ立ちまるの旅　アバ　風
涼しさや柳も流ふ水の泡　ミトリ、野雪
まるゝ雪のさふ来つ上る宮の鶴　四キ　口
未現さゝ雪の[illegible]　一芽
泊の千本門の[illegible]下条灯舟　チヨカキ、孤雁
ある探鯨泊の油[illegible]　アケハ、青雪
義経の[illegible]　岳人
憧京ハ森ら見[illegible]　カホウオ　宮広
朗し[illegible]暦も[illegible]　卍、玄舟
旅て[illegible]花の雨　日、鉄石
法のまゝ[illegible]陰旭　氷哉
りそて先陽[illegible]筆　蓮華
純さ[illegible]新春の[illegible]子　本所　大女
海山の[illegible]　下子、雲素
不二を[illegible]登らん表の山、　日比谷女
[illegible]や[illegible]海の[illegible]、　花女

三

紅さ白の[illegible]深生家、　舟女
[illegible]杜[illegible]風　ミトリ、呉江
[illegible]の[illegible]　奥二本松　野禄
[illegible]　一川俣　柳暁
接種して[illegible]絃林六　ミトリ、師女
[illegible]の册、　吟耕
新堂ハ[illegible]雅素山子　晏蛙
[illegible]の[illegible]木槿　雷山人
[illegible]花柚[illegible]

全六印

[illegible]雪白[illegible]　みとり庵
[illegible]父母[illegible]礼海[illegible]二三日　三扇、静里
家[illegible]の[illegible]　孤長
自の秋ハ[illegible]仏　柳儔
[illegible]の雨　引言
白[illegible]の底[illegible]日向一の事　真砂　自桂
涼[illegible]の露　一艸
雨の[illegible]遠氷雑　ミトリ、渓史
康[illegible]大滝ハ旅の[illegible]艸　漁水
白雲[illegible]　雷山人

感吟

[illegible]粥[illegible]　漁史
[illegible]雪の降[illegible]　雷山人

甲乙録

撰者 文哉菴昱嶂　雪律堂野月　堂豊谷

催主

補助

大関 四十六点 笑とり家
関脇 四十四 一楽
小結 仝 漢丈
前頭 四十三 柏の家
前頭 仝 柳生
前頭 仝 昱之
前頭 仝 柳女

同 四十三 山里
同 四十 風之了
同 三十九 其柳
同 鉢之輔
同 千雀
同 三十八 鹿老
同 萍藻
同 水哉
同 野橋

三十七 一芽　余志女　舟女　雲霞　孫雁　野猿　孫長　立古　鬼月　鶴峯

三十六 英眠　碎舟　光深　生里　浅光　三耕　雅渓　山傈　梅丸　雛柳

三十四 金水　氏水　杉枝　百ノ　竹道　以外東　西ニ及廣

大関 四十五点 雷山人
関脇 四十五 路風
小結 四十四 橋水
前頭 四十二 青巒
前頭 仝 野丘
前頭 仝 銀石
前頭 仝 昱度女

同 四十一 野暁
同 四十 去舟
同 三十九 花夕
同 柳池
同 一仙
同 三十八 一草
同 柏枝
同 其丸
同 秋露

三十七 梅山　松烏　梅水　金之　露月　呂江　臥高　逸水　弥生女　寅之助

三十六 玉狗　深秋　雅雪　四キ丸　長人　其舟　李年　静里　松友　雪丸　眠蛙

三十四 赤良　北大　三水　松谷　一窗　里蝶　乙代　初保　音〇　花丹　〇のす之

○

うくひすと似て居る椿の花　補助 梅僊

秋の夜や水行音の遠くなり　水哉

○

抱込む枕の先よく吹く桶の中　仝 野橋

吹割る星の光や帰る子ら　野柳

駈てゆく人の跡師走の星の声　素游

○

三行俳事　一釉のつや　欠之 老吾

栂のあとに世を黄菊のつくり　野月

居る鳥や浅き水に秋の色　昱嶂

更号披露

文棊井 旦支庵評

天 六六七 千雀　地 仝作 月守　人 仝作 雷山人

外　柏林　桁生　目出度女　橘香 日立と

野丘　雷山人　仝　千雀 六六七ヨリ七九五マテ みどり家

蓮堂野月評

天 正正七 柳生　地 七五四 白守　人 正五六 柳の家

外　麻遊　漁吏　鬼自　漁吏　路風

雷山人　青鷺　山里　三松 五四六ヨリ五四正マテ 千雀

雪堂豊岩評

天 七六〇 雷山人　地 七六五 漁吏　人 四六五 みどり家

外　静里　遊水　路風　千雀　野雪

一芽　青鷺　長人　去舟 六五四ヨリ正〇五マテ 梅の家

蕣甘題　秀逸

はなに咲蒼もえ〳〵帰る雲
出せ庵の漉をかくさる吉蝶哉
翡翠の上に来て志むる時雨の静
寛永ある竹のけ梅さへ大晦日
風の中みし〳〵や松れ岸
僧花や年明けて夜の蛸の里
苦み富袋も持さて人倉哉
巻れ飛きさ〳〵松葉の乱れ
長閑さや研尋ぬる沖の石
山水や人里近く来てぬるむ
巻昼の志て鳴鳥にふるみけり
風の岸あるゝ柳に為る秋さり

藤衣　章

正月にゑちかひ草の親子哉

葎井画評　秀逸

雨さゝあひし秋なりしを柳哉
菖蒲に鳥や鶴さゝ小春風
人去る老み満るる月和哉
紫の庵や営み深ふ春の哉
日和さく為しなたぬ中を梅やを
それ〳〵謝て加へ桜春の雛

年梅ゑ桜み海とうほまき日和さ
積り添い雲は苔なさき柳の南
諸ぞれ志ゆる唐や春の趣かな
笛面ありも吹いて梅の月和さ

律呂庵評　秀逸

雪解て松み春行る山路哉
まる〳〵春の宿さをさ柾る薮の水
降物の都ゆり宿紀呂悩さ
汐の来てる鼓る意地ある雪芦
さこへつゝ詠る秋に行る山の鐘
梢ほと地みさ積りに春の雪
庵付く掛ふいかえはさ苔さくね
旭さを松み隠さて永き日御か
穏なる日をさ宮さ掛める為の水
可以女無きけさは梅の春る

葎求評　秀逸

書初み筆は太郎あり帽子顔
志さしゝ海の角力もきの七日から
津鹿しては流さしはあり春の為
霞から庵付海にあしらひ哉
かね雨ひかりを焼き近折られ
苦の春ふりさき慕ふてさ哉

伸以　如童　介考　一兼　初音　蕣事　彫雨　甘子　弄め　潤和　甘亭　可笑

甘雨

霧マロ　志川　挿鞠　一力　一工　六点

年映　蕣雄　禾都　万古里

右紅　清溪　木三　蒼月　蓮清　河当　木君　宛任　合　蕣青

松の屋　合　吉胡　蟻笑　義山　年映

古池の水は濁りて春の月　　春夏
春のうち待て又止ぬ雪夜哉　　ちの女
物ぬけ村に鷄見星夕和　　柳和
猿も庭の明けは李恭雪揃　　魚子
運は龜擬　　前歌夜遍
字の向や雨を拾ても野の芝　　今雨
焦のむらゆかしや花乃聲　　聖村
昔明や一里ん濃くに花れ露　　禾柳
我が流れ物も冬の日数哉　　南光

○

おくろみに座頭桃の白し哉　　普船
雨なし風の夢か振の白さ　　商樓
明る朝は花そて冬の心みか　　美醉
をゝきに外み取る鳥し漆し　　梅逝

○

紙衣着て静め取ても花の春　　今二
搦見も春ゆかろくし[illegible]　　久我
初鰈の馬笑み濡るゝ哉もちぶ　　寿糸

○

戻りは阿[illegible]かの山花　　不老
根嵐やものゝ噂たに一時雨　　今我

企

宗周書

冬混題句合

己筆

両評合点

天 三十四 桃志　地 三十六 桃寺　人 三十六 桃山

番十吾 三十八ヶ三十五点 桃房化　桃切　桃房化　桃旭　湖月

空月　石山　猿月　正明　恒雯

外 二十五ヶ三十三点 茶の家　英己　紫志　柳風　青山　丙従

四 一京　如菓　○羽革　萬壺　采眠　亀齢風月　芝海　伏紙

十 春月　武丸　九尾　東吉　菜蛙　石子　光山　文門

旭光　老げき　西護　九尾　梅松　鼡年　春心　旭井

吾 梅司　文辰　一丸　喜風　柳女　文風　一笑　梅丸

當日兼題

天 鼡年　地 勝路　人 至誠

番外 三巴　楓月　鼡年　三巴　以文

幻拙庵評　巻ノ勝 ヒノキ笠ノ丁　空月

[illegible]

宝雪庵評　巻 勝　桃化

[illegible]

二の家　○九尾　梅年　海丸　桃道　雅月　全　魚竹　諸心　御多　蟹舎　石山　雅月　梅壺　梅風

湖月　風月　时川

梅寺　宗賀　山月　仙鳥　梅圓

兼題
子日庵評

[illegible]

月並三句合

清輝庵評　戊申正月分

天〇〇五 東居　地五七一 里友　人〇〇〇 桜林

外 四囲 松遊 海恵 宴甫 儒溪

位ミア

面白の月計金かし梅の上　カタトレ

名ゆかしき水のねころうり　丞、

火をうつしうすやひく人の通ひ都会　ヒカル、

むらしさ白帆そよぐや春の会　サクラ、

うつしとえもうたすや花れ舟　、

いまの風すゝ自ふあの茶の苗小　、

根かとしてある隣や茶の風　、

き海の世か振ありし吾の酒風　カイト、

梅さいたすまへのやさ好の神　丞、

わ梅や春さ輪清ハうき上て　、

積島や一ふくへの梅の花　トキ木、

蔭るまても蔭るゑあき梅そ代　、

為わやあふも詠りし星乃の花　、

茶の風さそふとまる了急変の神　、

隣より流ても汐やとる花一ぬ　、

そくの雲樹まえるかりふへ添ふうり　ヒカル、

若菜なとつくくてとくうし若菜の風　アタク、

清ひまのも寺たり小枝の露のうつき　サクラ、

蔭代の上へ分る日和や春のめうちの原　、

名綿はの雲の宴かに入あたえ命く　、

敷千ちのちいしう枚　後ましさ　、

桜て小戸ものうくる身　枚代　、

春し張すま東桜の主日う振　、

[illegible]

合評

正月や祝ひあそもの出仕ひ

出宗さや後の目主如り札　サクラ

梅ちれや寒く　六卯

きしやうや旭乃うつる山のうへ　ヒカル、

梅ハようたいあなり鶯き山鳥　、

日まし白ふ油隣のてう二月代　サクラ、

くゑ形の不織の子や咲え不　、

春の花不織のふしまてすり分　、

丁のゆくや月や翠にこの道ふ　、

舟の茶ハ松に味わつ柳　代　、

わ意いまる明を菜つうめのちん　中六、

てふ春や手笠たる方継まり　カイト、

七卯

つまの香るやれきまし月風の羽子　丞、

庭に咲てた持ふ日に行り花さう　、

気しらぬ思のうまゆよ春の風　、

兼題

天七〇 桜眠　地六五 輝風　人五 如薪

身ふまる侍も繕ね　六下

兼ねたる茶筅の手もと仏あ福寿草

菜や気はま白ふ華のつや　七卯

[illegible]

不易齋評

天五十七 櫻ぬ容　運座

地五十五 芳雨　人八十 壺瓢

[illegible]

正表点

絳子ゐくや 砌りみて 峒の底
きし咲や 見く透ぬ 松をすく 旭
さ川 猿ハ 芋計 すし 夕きくす
あらの白れ 京れ 氣々の 梅白き
夕行く 引交る 白の やあき かゝる
若葉すれ 咲の の色ハ 方へ 夕く
たられる 蘂 猿と 比ゞ 夕り

○

前のうれ 唐ふあてし 絳ふの色
うつりたるてもなき 白 点 代
鮨よ ゆきる 水や 格くまてまわる

○

つき種 見て 麦をわりとくえくを

○

猿安の名 千代乃 齢を 粥柱

桜里　桜成　桜栄　杉枝
、凡　松瓢　壷凡
超挙　桜芳　芳子

不易庵

清輝庵

武江 柳居庵 雪中庵 補撰

月次

白露会

隣花

里也

白雨庵 志ち 雪房 選

梅寄合

丁未十二月分三句合

天 本々 雀静　地 武川コ入 竹扉　人 下谷 三光

外 玉泉女 逸鴬　静志　喜蝶　霞暁

月翠　玉志　雨降　橘月　喜交

五点之部

[illegible]

白雪連　金巴　武西谷　本々　武川越　相三浦　武川コ入　東岩　魚コヒ　ヒコ子　松　武キサイ

五　口　十　十一

其昔　表富貞　月墨　里江　玉紀　玉志　亀女　休山　ある杖　止川　廣之　梅舎　[illegible]

〇之部

[illegible]

武川コ入　白雪　下ヤ　松　下十　武本田　白雪　カヤ八丁　一水　書栄　羽松山

五　五　二　十　六　二　三　九

[illegible]

[illegible]

八橋之部

[illegible]

六印之部

[illegible]

戯吟琴之部

[illegible]

達月運座

十一月廿八日

天 玉着 路心

地 夜外 止瑞

人 寸長 可堂

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みつきや佃きんで妻の川　北嶋

大菜畑

うみ山のつくる[illegible]

[illegible]

風除や[illegible]月の波

上也の[illegible]

[illegible]を節やふくく[illegible]の段

[illegible]庵

子日庵評

月次三句合　丁未十月分

天〇〇　文二　地〇〇　旭井　人〇〇五　東花

[illegible]

とくりきて火をちらすあられかな　先竹　同八之
穀くらはぬ霰のうちや梅のはな　　一　徳二
京根らうよひそむ梅の一葉　　一　寸
樹の雪の一葉よ廣う赤さ月　竹　了
納盆の雪の赤き三日堂の月と　　一　梅
不女の見ゆ白心悪し　竹け　一　里
悟たしくよ撰の末てゆるさき　竹　一　暁
日のあしの障子たしらや冬しる　れ　一　拾
てよくの江の宿やうりや小ちるの　　一　収
竹うしやひと背く余るの事　　一　閑
風やつうしうう谷の枯尾を　　一　暁
夏のけつや雪や牛まのの盛木うり　　　雲
まつ雪や牛まのの盛木うり　　一　山
十月や鉢のゆるすをさく　竹　一　一
御米ゆり付乃雪のほさんの虎うり　　　小
鉢のおもしろき冬のおもら　山　一　雲
あよし　さつきつく時雨のおもそ　釜　一　雲
性らくと松のうちされ　竹　三　子
植木下の虎あそまる　れ　一　竹
立冬の見の物さや月のうく　竹　一　冶
あまつやねて朝の来て付　去　一　我
うくしまを乃出し小六　竹　一　五
菜まうけの名ゆくゆう　一　梅
宿梅の雪えうる女への女医　竹　一　物
こんまやくまう光れ冷　山　一　栗
結納の梅と三つ　竹　一　古
文も武もし　竹　一　文
こうしうまのうる仁王のや　竹　一　梅
京の地ももちうしむ月さ枯　柳　一　喬
おさらしきうそやあるて梅　竹　一　浦
非寂て林のつまし　竹　一　末
ひそうて寝る無る仏　竹　一　民
魚の月ふもまう後　竹　一
風やや露さく三井のとふ　竹
宿むるかとえそ冬山よわ月の出

牛ハ牛去つの十枚さち　同乃上
来をせりうつ冬のうち　竹　一　慢
風の後よ手まりしうるつ　竹　一　芳
笑のそもきくよ冬のおき　竹　一　蕎
炉ひくろや杖て送出す袋　竹　一　石
かちきのころよま春あり　竹　一　三
こえんや見のうえ　竹　一　寺
うきろめを落ま飲けそへん　竹　一　臨
あちゃ月ゆうなの名　林　一　我
落屋うりの包みそく　竹　一　素
雪仏本来の面目　竹　一　恒
湖ま天二川ありそ雪　竹　一　石
え日あのかれて淋しく　竹　一　去
雪そそれや今の鏡　之　一　慶
あしらへうちて思ひの冬の　竹　一　女
翠きる時雨きて　竹　一　艾
亡所後影のうれしき　竹　一　吐
縁うきと影の燕　筆　一　花
性火のや去あんきうまる世　一　閑
二木の頭をふくれ　竹　一　格
山合まつ暑のひと秋をゆくれ　竹　一　柏
月六ちやもうちゃの細宗　竹　一　梅
ええうつ杜よ経うり　竹　一　機
あよまうふ八手よう笠の程井　竹　一　成
かく一汁やれ子年の変そうへ　竹　一　月
葉寄柏るるく甲斐ささ衰　竹　一　吐
世中へ松は風の初　竹　一　参
初しくれ荒蘭ち路の夕日　竹　一　云
有ののうりよりふとの友　一　午
おさうけの梅次本り去ふ浦　一　文
梅を好まふむうり除数の用　一　基
木もふとまかりの月巴山　一　堅
歌ま隠しのつ銀の係　一　雪
新堂月添切按やてま

清輝庵月並

酒瓢館附評

天〇五十 李一　地〇四十四 朧蝶　人〇七十六 古蛙

外 旭井　隆山　雪青　播入部　悦志

香三五六印

うくひすの卵もあらし冬の梅　梅史

夜そふして日のさしかゝる山寺かな　香丹

山川の割も流るゝ夜の月　里ウメ

雪梅やふるしるき葉のかくろう　有令

落葉しんて秋のよき小流かな　成女

枝川の波のしつかやちらより　巴

全七印

七草月は旭からむやちらくる　菰蝶

雪梅やむしかしる茶巾餅　梅一　学治

子日庵評

天 有友　地 年風　人 梅路

兵さて常磐上目宅

香三五六印

秋の日の城を見しけりや懐よ　嵐九

又出くり報で今下の話合人　悦志

雪の月や月でつくめのふすえうり　梅路

妹許の出合かしらや緋さきき　い

志くら火のそふあかり名和の春　有女

初とおろの狭在庭や月のしも　雪扇

有松や燈のきまんもかきる座　年風

堅う旅ところ闇のくんあるろよ　有友

全六印

浦島の子の名れのゆゑをうくりむ　伯む梅楽

魁は白歯哉とありをつのそ

〇

おとけるすこしひきや冬の梅　触

十月や餅よめくし菜の咲さ　三我

清輝斎評　戊申六月分

天 十六六 青井　地 五十二 櫻業　人 十五五 酒楽

外　来村　柳凮　橘皮　櫻里　櫻雲

位之部

人拾く身りし[illegible]けしの花
[illegible]くく[illegible]日傘代
[illegible]魚の[illegible]
藤の[illegible]や[illegible]
車井の[illegible]ん[illegible]
[illegible]飛蛍
笠[illegible]の[illegible]しや[illegible]
[illegible]
[illegible]て[illegible]たり
筆[illegible]や[illegible]車
今[illegible]しき[illegible]
舟[illegible]や[illegible]月
[illegible]人乃[illegible]代
[illegible]
大[illegible]木乃下[illegible]や蝉乃[illegible]
[illegible]
[illegible]士乃[illegible]故道代
行[illegible]日傘[illegible]
[illegible]蛾乃[illegible]
[illegible]姫一[illegible]

松雨　仝雨　宗人　月山人　梵中庵　櫻里　櫻雲　四[illegible]　やさ[illegible]　橘皮　仝　松泉　仝　仝　櫻皮　仝　風毛　亀鶴　雪生　酒楽

目[illegible]仲て[illegible]
[illegible]
[illegible]狭きを[illegible]社
借り[illegible]
灯火乃[illegible]

夕立乃[illegible]風の[illegible]
[illegible]
手に[illegible]
[illegible]山[illegible]重[illegible]
[illegible]月の[illegible]の果
[illegible]山家代
[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]
百[illegible]の[illegible]
骨[illegible]
[illegible]の[illegible]の諸[illegible]
[illegible]肉[illegible]子の[illegible]
[illegible]

[illegible]
名[illegible]
痩[illegible]の骨[illegible]
[illegible]
[illegible]

竹光　杉旧　起雲　芳雨　去舟　仝　柳凮　勲香　仝　櫻友　枯軒　柳庵　沢浮　仝　仝　酒楽　青井　仝　梅柳　味丸　東居　櫻皮　青井　櫻栄　来村

一光舎泉評　兼題

天 一十六 櫻里　地 五十五 里明　人 四十 八重

秀逸

人あとも先へハ行かぬに　孫きさ雇　禾乃

氷下し舩より先蓮のちる夜かな　巣雲

胡蝶ハまさに啼きもせず　蓮乃君　ムラ松丁　桜里

清擇庵評　運生

六下

天　川鋪しく少く湍あるり夜れ月　サクラ、桜仙

人　相寮し庵ハ月と我ひとつり　桜宗

あつきなや垣のそとへれるかし参代　ハ松童

海へ降る雨ゑくまふ扇代　トキハキ、松槿

打ちの中も涼げし蓮うちわ　ヒカル、趣凡

涼しきを手ふくるる笠の手代　、黍江

地　木乃気を抑え吹かれ居つて代　東石

〇

白笛や家毎に驚るらん比根　丹波伊　東居

むくらす向勝手あり百合芸　泉

日々継く雨に逢ふ々の月の代　清擇庵

月並三句合

つきなみさんくあはせ

清輝庵評　戊申二月分

天(五)起雲　地(七)竹露　人(六)酒楽

外　峨月　松遊　蔭堂　両鶴　眠暁

位之部

せきさりや[illegible]　サクラシン　桜鈴

ゆきてある人[illegible]柳[illegible]　　桜石

栗のめ[illegible]　　三ヽ　[illegible]

うろうぶ乃[illegible]　　トキ栄　[illegible]

[illegible]　　近江　負来

猿[illegible]の果報[illegible]　　乙　[illegible]

灸の[illegible]二[illegible]　ヽ　[illegible]

ひらき[illegible]一ヽ[illegible]の風　　[illegible]

あ[illegible]桜[illegible]　　七カル　[illegible]

[illegible]風　　別下　[illegible]

[illegible]　　カメト　[illegible]

[illegible]枝川浅[illegible]の花　　乙　[illegible]

[illegible]樹[illegible]　　ヽ　[illegible]

[illegible]　　サクラ　[illegible]

雀子[illegible]二葉[illegible]　　ヽ　[illegible]

[illegible]風　　フク弁下　[illegible]

[illegible]　　ムラ松下　[illegible]

[illegible]　　一ツ目　[illegible]

六卯

[illegible]の日の[illegible]　　中川　[illegible]

舟たてる[illegible]梅の風　　中川　琴頑

[illegible]山[illegible]花乃山　ハゲホリ　[illegible]

[illegible]八目の[illegible]　　毛　[illegible]

[illegible]　　ヽ　[illegible]

[illegible]の[illegible]　　カクヲ　[illegible]

[illegible]　　ヽ　[illegible]

[illegible]　　上大木　[illegible]

[illegible]や[illegible]　　ヽ　松遊

蛙[illegible]　　中川　[illegible]女

[illegible]　　サクラ二　[illegible]堂

[illegible]　　三味上寺　[illegible]

真[illegible]　　毛ヽ　起雲

静ゝ舎居美斉　兼題

天(四)東居　地(八)桜里　人(二)柳風

[illegible]　　毛ヽ　[illegible]丸

[illegible]　　サクラ　桜[illegible]

[illegible]　　[illegible]

不易庵評選座

天(六)峨月　地(十)桜[illegible]　人(六)桜里

[illegible]　正五　桜[illegible]

[illegible]　　峨月

[illegible]　　[illegible]

誰子やりふしるゝの乃き　卍　、　寝楼　南翎
第まく押し二日の去紀
六印
蓮の葉ハ二すくりふわ君　峨月
寛きし雲るの香との暖し　桜堂
浮きや佛餞ハ知るゝかれ、　去舟
年合や水へそゝまし隠の床　宮雷

軸

手ゆまれるのよひ早園し　楼ゟ子
楼酒乃葉り岩そへ隠月　ゟ易亀
色角の刺もかへりてあれ芽立　浅鐘亀

一畳庵掛額四季掛替弁并披露　句員七百余章
不覺齋改
不學堂評

天　五五六　碧庵　地　四〇六　可笑　人　四五六　玉杯
番外　沾之　素雲　水丸　いろは　竹哉

六印之部
蝋るや茶子ちゝぬ春を七ちしり　夕干川
下け常にりりせしまき宗白も子　梅逕
毎の故茲柳子底る春照り部　玉兎逕
棲て其ゝ傘更雨せる篠あ　卍逕
陽子るむ服ぬまりかり　、
かけ込んて夕立ふて百戸也子　、
花椿んは風きゝまほる梅の香か　、
夕立茲帆を追ひ却く腋子り　、
八專やいまく憾子史我見せ紅　、
串合ハ鶴あり木首の豆様　篭庵　、
親竹ハ肉子梅りれこし　冬　、
交の句不こり押えを止子かり　、
葉竹より首子まるゝ出由免黄　、
荷はると命の橋やかんこより　、
探涛や郝不見ゆる風未ゝそ　探逕
星一日月ほら嬉し　玉月宮　詠君

竹哉　櫻月　曾峨　東篠　ゟ紀　いろは　赤丸　長笑　玉睡　碧杯　可庵　いろは笑　沾女　探逕　宗弧

碧庵評

天　四六六　峯女　地　五五六　園明　人　四〇六　魯雄
六印之部
清を見えるぶまる一日けり海の元　卍逕
寺唐りまるや拙将の泉り表、　貴山
夜ゝ一友気ゐる庵や近りとそ、　魯雄
　　　　　　　　　　　　　玉杯

[illegible] 卍逵 甚蛙

[illegible] 楳逵 一方 影

[illegible] 卍逵 閏明

[illegible] 峯女

[illegible] 梧之

[illegible] 芳雨

[illegible] いろは

[illegible] 去舟

溜りせは山雅の[illegible] 評志 芳洲

一星舎評

天 芦洲 地 玉杯 人 雷丸

當日兼題

[illegible] 卍逵 芳洲

[illegible] 尊子

[illegible] 田雄

[illegible] 東籬

析栄舎評

富貴とふ此花あり百牡丹 當日運座 去舟

天 去舟 地 夏蛙 人 東籬

[illegible] 尊於

[illegible] 東籬

[illegible] 甚蛙

[illegible] 去舟

植る田や見競へ[illegible] 評君 玉杯

[illegible] 文蛙

一星舎撰掛数四季掛替并点数披露 句数七百余章

不覺堂政

不學堂評

天 碧庵 地 可笑 人 玉杯

番外 沾之 素雲 水丸 いろは 竹哉

[illegible] 竹哉

[illegible] 楳逵 蝶月

[illegible] 玉兎逵 東籬

[illegible] 卍逵 いろは

[illegible] 玉甚

[illegible] 碧庵

[illegible] 可笑

[illegible] 楳逵

碧庵評

星一つ月[illegible] 去月 評君 宗弧

天 峯女 地 閏明 人 會雄

[illegible] 卍逵 貴山

[illegible] 尊雄

[illegible] 玉杯

舟の名残□て□けるこ□□□　紀逵
筋くて□□□□の□□□□　其蛙
そら□□のさ□□□□□□□　一芳　彩松明
□□□□□□□□□□□□　紀逵　閏
□□□□□□□□□□□□　社之　年女
□□□□□□□□□□□□　紀逵　柾
用て□□□□□□□□□□　芳之
□□□□□□□□□□□□　いろは
□□□□□□□□□□□□　吉舟
洞□□は山雛のゑ□活□□　評者　芦洲

一星舎評
天　芦洲　地　玉杯　人　雷丸
当日兼題
□□□□□□□□□□□　紀逵
□□□□□□□□□□□　芦洲
□□□□□□□□□□□　子□
□□□□□□□□□□□　魯遊
□□□□□□□□□□□　田雄
□□□□□□□□□□□　東竜
□□□□□□□□□□□　東羅
冨貴とハ此花□□□白牡丹　吉舟

柳栄舎評
当日運座
天　吉舟　地　夏蛙　人　東羅
□□□□□□□□□□□　亭蛙
□□□□□□□□□□□　東羅
□□□□□□□□□□□　其蛙
□□□□□□□□□□□　吉舟
植□田や見□□□□□□□　梁老　玉杯
□□□□□□□□□□□　仝
□□□□□□□□□□□　文蛙

廣吹連

稲荷社奉額句集

桃丘庵　天 章人　人 斎秀　番外　調多　仙旭　古十　井桂　一桂
地 八重獨　物化　不正　赤川　川里　佳白

竹隠庵　天 一叢　人 錦道　仝　一松　多白　倖粟　忠裳　竹翁
地 錦集　子美　傚窓　□山　家秀　楽道

亨堂　天 一松　人 竹翁　仝　柳也　梅の家　菊村　錦秀　□程
地 不門　素錦　春石　一桂　蛍雪　任枝

府 燈園　天 倖春　人 素雅　仝　道哉　花道　暁山　倖月　数楼
地 樵山　野児　蘇葉　楽楽　其□　和□

府 八川舎　天 古流　人 登山　仝　如雪　□□　峯粧　窪雨　冨雅
地 菊窓　点　其雀　信風　蛍雪　其洲

魚 森鶴庵　天 倖畑　人 花什
地 荘池

稲壽園　天 樵山　地 新玉　人 楽多

運座 吉葉舎　天 一夢　地 錦春　人 章

仝　田春庵 梅道
清文堂 松山

白鳥四千五百有余年

桃丘ノ唐様

[illegible]

升信窓様

[illegible]

春画(?)

[illegible]の月　松山　、拝玉

[illegible]　一桜

[illegible]　タキハナ　、やよい松

[illegible]　ホシノ　、賓の本

[illegible]　小石川　、左自

[illegible]　赤羽　、侍女

[illegible]　、桃子

[illegible]　下ヤ　、箕学

[illegible]　、やゝ

[illegible]　アカキ　、夕向

[illegible]　ハシ丁　、松自

[illegible]　フカ川　、[illegible]

[illegible]

[illegible]

亨世撰

正五点之部

十二印之部

[illegible]　中石川　一柳

[illegible]　一葉

[illegible]

橙園撰

[illegible]

月下庵[illegible]

十点之部

[illegible]

八円舎評

[illegible]

萬歌

淑鶴庵評

[illegible]

全

物芳園評

[illegible]

甲寅南呂望中　赤崖堂　評

申の紀行

[illegible]

[illegible]

ゆくとし
鼎形よ四ッ也　柏庵
山家ゆきて
あくらさへくまけ
春乃菜[illegible]

梦中庵
櫻林

梦中庵百箇日追薦冬春句合

八巣評

天 口六六 四重女　地 七三 琴也　人 五三 澤浮

外 文福含之友 酒楽 鶯巣 揺里

七卯

なくさまぬ[illegible]柳かな　山今
えてるしめ[illegible]　琴也
おんうつ[illegible]八桜ちりけり　柳凡
ちるより[illegible]掃[illegible]木の桜代　乙レン 二ノ
山家[illegible]夜乃鶯代　揺匡
たくあ[illegible]の花の色　揺里
ゆくはる[illegible]ちる桜代　揺夕

清輝庵評

天 四五 四重女　地 六つつ 柳凡　人 四七四 瓢雅

外 うばら 酒楽 喜屋 柳凡 鶯巣

[illegible]

火のきえて[illegible]八つ[illegible]臣佐うる　ウキタ 嘉辰
えゝ人も[illegible]冬乃桜　浮泥

菱乃世や菜にさまれかゝるゝみと　カサイ　かわら
引をまつ薪花法紀乃根代　七、　芦洲
山桑宇や隣へう〜法師　、　柳風
雪ゝ竹と近て樹のもかゝす起　柳七て　山旭
蒔咲や笑の真似付し法　トキ米、　酒楽
ぬと風り桜ちり行林代　サクラ　桜酔
花の夢とおきへ六安しちる桜　一ツ目　梅柳
袖く眼をおさへて乃おれ代　信ス努　池鴨

七印

花乃菱えて旅る老の留る旅代　瓢雅
いけ立もはなしのてや汐干狩　桜、　四重女
咲うゝの目さ紛りちちる桜　、　桜夕
折られてもめけぬ桜乃主哉　トキ米、　竹光

両評六点位通句

鶯や春乃庵りしつさ法袖　、　杉旧
春わりて古まてくる花のちる代　カサイ　月満
香にみのなるや桜乃流　酒楽
見へて咲とる旅や桜の庵る月　五兄、　鶯巣
修り温泉乃満く合ふやゝてし　三ノ
乙鳥や波まゆるき庵乃家　サル工　三友

錦層蘊評

椿さくや三石杯留乃門うまえ　七、　馬中
今宵の名残れ一の咲花庵　四角め
咲まりもまく散りり梅花　サクラ、　桜巣
夫乃日や夕鳥旋る畑のうし　、　酒楽
春るとさわりかるや料理人　五松丁　謹示

兼題
天　桃林　地　二五　泉　人　二五　酒泉

当りていらぬてまのつきけり　二　鶯巣
たまさせてもや四番ちる桜　柳二マ　松雨
ちる花ゝまゆしさま都哉　、　昇月

六印

多くれやたるひ花へちる桜　紅桃、　桃林
おそもるよとねるゝ宮の主　鶯巣

静ゝ舎子畏斧

運坐
天　輝風　地　文福舎　人

桜さ子もとく菜行り夜の細　桜堂　松雨
猿ものや桃さ旅付幕府乃梢　山旭
うけきえくいつ比ま鳴ひかり代　桜　桜雲
京りのゝ行きかてま住代　々

六印

散らぬとて風申れまぬ夜乃花　輝風

転うけそまさ流つやふちの花　玉兎　文福含

○

梅乃花ちるもの逆て花なり更　春道

旭影ともま信碑のつ霜柱　礼順

承けきてかへらぬ年の行へかな　竜水

こ形ぬく散しもちち桜かな　如意庵

眼をとめく旅てなちつく付桜哉　催司

道くくとこのそる桜乃林こ雅　桜里　輝風

弟よ浮名風ふつけても桜哉　静々舎

桜ちもたしぬおれやるひと日　錦暦稲

うく比ちの吗よ流ろても胎通る　八巣

また出恋うても桜の絲ふちる哉　清輝庵

己酉暮春念六日

東都連披露四時句競

雄翔居桜　天十二五　祝　地十五　川里　人二十　鍬玉

竹陰窓桜　天六十四　可笑　地十五

初音園桜　天十七　七五五　地十五　人　楽多

立　未仕　一可　竹史

評　花月　坂下　川里

合　梅子　一水　梅子

点　梅子　人

番　花月　梅子

外　一

十　

五　一可

客　梅子　松山　千亭

蓬莱亭伴雀子評　天四六七　松山　地五七　人今　柳花

猿松坊凌雨子評　天○○四　槿山　地今　梅風　人○吉　暁月

稲月舎燕歸子評　天七三○　楽多　地六五　四季　人六○五　松山

辰我美庵橘斎子評　天七五六　梨村　地七五　今　人四五　不麦

雁嶺居評　四季混題三句言

秀逸十印ノ内

さびしさや旅の人のやりすまし　チ住　千々亭
のどかさやけふのしら浪の額よみかへる　ヤノクラ　叢風
紅葉かなやきもおちそめらんの山　ヨシハラ　一あ
うけうのや切てくり出す舟のかく　森本レ　梅枝
海山にあかりて空のうれしさ　アタ本ノ、　月呈
人影はむかうさま木かげかな　左川　成川
姉の笠は妹の笠かやつくし　イ、タ丁　兔玉
三日月やそろく出たる宵月かな　マスホレ　祭謎
来る人は元のよくれ有り松のうち　、　森丸
明る夜は似て日ののぼるの海　ミユキ、　孫夜
色くのうへに山々やまのみぞふ　上サラタイ　之え女
朝出てちりめてらぬ岩清水　、小糸　梅雪
風まちく出てくれたる夏の月　九十九リ　貞和
折くれは露をなかしけ柳かな　ハシ丁　呆之
花咲や蓮見しくのののやまかれ　東翁レ　花雪女
そよ草をするやくあそそ月の出　、　旨人
照る夜のつくな寄るさを来ての己かな　、　川里
海苔の舟や魚のおき精きなう　、　旭圭
関燕下まちられぬ火のしかな　、　清笑
菜の花やむくろの余る子のあそびに　翁、　風楽

竹陰窓評

秀逸十印ノ内

鳥をくるれ梅は鶯も长居かな　スンタイ　自楽
つらつらや秋はみえすてせはしなき　千々多
笑兵や春のかくれを労るは往　サルワカ丁　仕友
鷄聲飛絆をさげて匹丸に摘種の場　ニノハシ　呉丸
筏よりものへ合のあるまくるむ　梅枝

初音園評

取ける坂あゝし梅ゝ手ゝ　在九
化の首をちのくふちるをみうら卆　ヨヱハラ
浅き水のあさ[illegible]卆　イハホ
培部み月おや梅ハ[illegible]　梅
宵るの時[illegible]りり　マスホ
[illegible]のそるる
[illegible]海士も八[illegible]
[illegible]麦の[illegible]横[illegible]　上サ小泉
[illegible]の[illegible]卆　南八女
秋の[illegible]
[illegible]　東翁
一八[illegible]
[illegible]の[illegible]桶
辻の灯もさ[illegible]薪の[illegible]

在一[illegible]　梨[illegible]　貞[illegible]　風[illegible]　子[illegible]

香道十郎ノア
[illegible]の[illegible]月
[illegible]月も[illegible]色　立川
[illegible]
[illegible]仕[illegible]　卍
[illegible]梅の[illegible]　ホミノ
[illegible]羽子二人[illegible]　アゑノ
[illegible]梅や[illegible]
[illegible]の舟も[illegible]川　タラマ
[illegible]怪我[illegible]
[illegible]代りの[illegible]
[illegible]　上サ白夕
[illegible]山
[illegible]和[illegible]　代
[illegible]

一[illegible]　子[illegible]　葉[illegible]　香[illegible]　芦[illegible]　花[illegible]　我[illegible]　文[illegible]　一[illegible]　子[illegible]　保[illegible]

蓬莱亭律窓子評

[illegible]
[illegible]卆　東翁
[illegible]
[illegible]令[illegible]桜卆
夕[illegible]の[illegible]

子[illegible]　三[illegible]　尾[illegible]

香道七郎ノア
掃除[illegible]の[illegible]　アサクサ
[illegible]
[illegible]卆　忍川[illegible]
[illegible]
[illegible]　スンタイ
神代[illegible]木の[illegible]
[illegible]　在九
[illegible]
[illegible]
[illegible]令　非[illegible]
[illegible]　上サ
[illegible]
子の[illegible]給卆　カンタ

全十郎ノア
[illegible]
[illegible]卆　卍
[illegible]月卆　東翁

静[illegible]　芦[illegible]　葉[illegible]　松[illegible]　柳[illegible]　松[illegible]　梅[illegible]　子[illegible]　煮[illegible]　子[illegible]　貴[illegible]

猿松坊凌雨子評

秀逸ノア

[illegible]

稲月庵燕帰子評

秀逸六印ノア

[illegible]

辰巽庵楠谿子評

秀逸六印ノア

[illegible]

○
去ハ照のくもりのちりのれなりけり
栄えあれて肴もつまき羽拍子
さえのくる立白子や不二十のて
並ぶ日の延くち客し梅の花
牛くあもあ啼らてきまきまくきけり

○
采方も我こころより中せたる
細ろや日本まろれいたてしなき
照やまろめやむの中ありえ代又来

○
見かくきてやも系をあるの中のあり
こくの藤の亭さこ次くきや薪の毛
芥子咲くやかくのて風のおりそえる
六月もなし筆数の勝しかき
咲まくてへおうくもこえし山さくら
此ろの子ろ見たろりくへの花
稲積ての多や二階の別座敷

○
このろやの春多く子信て旅出けり
多さしの投竿ありるる家けり
あのちろろのし日月の夕田面
そろ毫のそくと帰ろの戸萋五月

壮
衆杖や旅服もくうね小餅ね
楽さやや松くみ代鉢ろ山今侶
そろくろこ土くろのきまみ色けり

信丸	連中 西牌	後見	附判	撰者
小魚 谷く 当家 風生 岳多	一世 芸 艾 [illegible] 岑	梅風 子来 外丈 源香 梳義 鹿松 香薫	楠蒔 慈佝 淺百 俳産	風去 来舎 鶯不

嘉永元申年？月

梅丘叢撰

天六吾 玉英 地六吉 梅つる 人吾吉 梅出

外 蛛丸 壺雨 東蘿 夜光(?) 小堂

白雨 松岩 彩史 蕎園 錦賀

六作

咲こゝろハ未申書もかゝき野梅哉

落る程咲ほこりけり椿かな

鶯の中よりかそか山の宿

山の端を出て書(?)ぬ霞かな

山を越し野を越し鶯けふハ梅

啼へちる梅や錦の明けし

うつり葉の花も好(?)み蝶の来る

いつもそう初物かしき魚かな

露るの梅寝れし浮葉かな

山端(?)霞み 菊の思ひなる紙かな

酒まんてきいハ雛の宿哉

加也し 常梅

亀交、壺雨

加り之

小石川 東流

葉、葉芽

卍、雨意

、芦洲

、田竜

根元、梅素

、梅つる

一松

鶯も濡ぬ春の雨の中　白雪、椎子

猫ひり寝て油さへ濡縁かな　　玉英

春雨や傘さし出す花の山　、花雪

もえ出る宮にまつ花の山　厂木 一琴

かりがねの日も暮にけり春の節　新、我柳

喰ふ雁の東の月夜や花の山家　松花、桃蝶

麻布の風に揺れて雲雀かな　、

宿の松の春の蝶の蛙の山嵐　ハント 猫衆

腰までも乗れよ入ぬ声に魚の群　松谷、梅衆

岩角も水に透けりて来るの音　　　休吉

蝶々のとぶ生藤や川きるの山　　梅窓

花さかりや人の貸る筆の外

七部

引出の初しらぬ筍見に風入様　松花之 彩衆

落ちて臥て静かに春椿　池多

花の幕くしやり坂を参りけり　、　莬丸

秋雪楽様

天七五ロ 桃鳩　地六又五 いろは　人六〇ロ 去舟

外　東蘊　紫苗　桃生　彩史　桃鳩
　　雨庭　田亀　成睡　竹丸　山居

正　五

以の薫り以の朝日の影や花の中　下ヤ 紫苗

梅の香や襟の綾ぞ頼む化粧　亀多、 杏雨

負ま入る舟暖かに二月かな　松花、 桃生

ぬか月の晴るゝ霞に初雪かな　、 一松

手もとの雨やらうらに桜も花　北、 東蘊

きも衍に居る春ののとかの汲干かな　、 いろは

猫の子のおもへるやうや蝶のうけ　、 青々

住家をもちて白き雛の向ひかな　、 瓢斑

けふ縁に蝶々も拾かし出の雨　、 一旦会

布縫ひかや繊ぞ香たちるの草　　望多

ちらよ猫の魚つゝめる楊枝の隙　三十キ、 眠覚

眠る蝶背戸の芝生にねぶりけり　一松
たゞ一夜にして又なき柳かな　如白
彩霞の一と日きかぬや紅　彩史
花ちるや笹子の木の梢より　、桃鴻
返り咲やしの葉の木の梢に咲　松花坊
老鶯や影をかくれ花ちるころ　浮漢

六帖

吹止て地に落つや花散り　七、一東蘿
柳手のとけて流るゝ白帆哉　、いろは
雉子まよふ猿の縁　、玄甫
引よせて東風にまかする白帆哉　、社つゝ
春雨と帰る霞の姿嬉　、渓章
金剛すりぬの紅の花

幕の縁揚ぐ画すや春の香　松花、　桃鴻

組花亭撰

天（四六）鬼蕾　地（又五）芦人　人（四五）笙水

外　生挺　玉英　運来　玉英　巴吟
　　梅窓　一菱　東蘿　挺子　一笑

正五

初かすむたなびく穂のなれ　一菱
鶯の声わたる風の中　妙色　桃生
山と銅人野を越えて式桜哉　松花、　葵
吹止て地に落や花散り　葵、　東蘿
濡過てます／＼縁に鎖し桜哉　卍、　雷丸
鶯を濡色の声が雨の中　、　挺子
二三枚梅に戸する雨戸哉　广水、　巴吟
まだ風や玉子の声を吹早し　楼ノ、　松光
ますく雲にかくれぬ花の蕾哉　柳山
夕暮のかり文とめる柳かな　芦人
まづ虹の作へは見てけり菜堂　松花、　桃鴻

米蕎の穫花子の咲くる利し　卅丁　松花坊

六本

嵩や枝揺らしさ声のなまめ東　各吏、翠雨
慈猫の尾も来ても旅の糸　葵、葵人
縁遠い影くて松淡雪と[illegible]　巴、鬼鶯
物言へば声の果てや夫の月　ハンナ　松吏
川青う向ふを吹やちるの風　擽敬

西鶴叢撰　冨日選

天　書曉　地　桃隝　人　今十郎

正本

襟雨すかたの葉卅の蝶　巴、一莎
鶴うた想の鳥まよ夫の雨　松花、桃隝
解くの青を早し畑の雪
叢出よ縄く家ずりう桃の中　鹿山人
松古し山吹を根千笹を根よ　今十郎

紅葉や何の蓄種を待後船
木の使家猪の登地もより　淡幸

六本

柳す窓せて蝶の柳よ高彩雲　巴、芦洲
高解の茜州より鶴の声　書曉
鎌形りの庭の条切る霊前
芥摘や摘まし生ふ座日も光れ　松花、桃隝

○

菅淡る吉神かた　淡若手なる　去舟

○

竹ちゝる八寿よ隠く仕の我事利　柳花

○

鴫とをる絶丁綾く柳しの春　淡之　白雨

○

折さうて折せぬ也 風の柳かな　楽山

海棠や猫か袋(?)のつる つり枝　梅雀

雲ゐ至房かり さき自魔かな　桃生

退屈の瞳動かせ 柳かな　一松

○

二三猫 打よ集て まつ人まつ花　漁壱

飛ぶつむ 飛(?)ある の 猫　学高

咲花や 下に抱く 図の瀑布　会雅

桜し 咲る染めせ ちるの一雨　本我

花画屋芳実御撰

天 桜谷　地 桜友　人 松舎

畫舟 東谷 春舟 桜眠 一和 松女

　　正五選

打浅きわかれ ささつけ 吹花　桜雨寿

さくらより出る春をわけ来かれ　桜眠

雲間やかく 葉の手摩さより 桜花　桜峯

ふうの くあきて 流れの し ろけ　宮当

勝りする打れて 中の前 葉かな　百之

雲様より 来て 咲きとさる花　波暁

すもつさ の 来るかる 桜の先　桜雨寿

遊ふなる ふつむ 風とし 年の暮　菜水

宮さ桜やふつ 々の外 起花　一和

瀧かや 志乃き 植ゆる 満羅 桜　桜谷

出る月の 春へ出して まし 心れ　貞我

さ出 庭をし つか 枝ふ　三若

州淡やや 宵の時の 姫かなる　泉

水仙や さや きんくさ 秋の月　出尾

さ 雨やも の 桜木 笑よさ　仙也

[illegible] 卍色 去舟

[illegible] 桜色 桜林

[illegible] 竹外

[illegible] 松女

六印

[illegible] 桜雨実

[illegible] 桜色 桜支

[illegible] 暁色 光暁

[illegible] 玉芳

[illegible] 桜色 桜彩

[illegible] 桜岩

[illegible] 空舎

[illegible] 松居

[illegible] 青井

不易華箋

天〇四六 竹光　地六五〇 メノ　人一〇六 梅枝

山五題

[illegible] 桜色 十ノ桜涼

[illegible] 桜城

[illegible] 桜里女

[illegible] 梨江

[illegible] 桜岑

[illegible] 暁色 清暁

[illegible] 水暁

[illegible] 空

[illegible] 雨

[illegible] 峯

[illegible] 拜母

[illegible] 梅逸

[illegible] 湖園

[illegible] 松丸

[illegible] 貞舎

[illegible] 立我

[illegible] 永

[illegible] 可う

[illegible] 繚

[illegible] 一葉

[illegible] 閑丸

[illegible] 恰光

[illegible] 卍色 芳新

[illegible] 雨

六印

[illegible] 紅梅連
梅八
[illegible]
[illegible] 巴嬢
[illegible] 香生
[illegible] 〆〇
[illegible] 三若
[illegible] 竹光
[illegible] 海楽
[illegible] 梅枝

○

[illegible] 侶主 桜出
[illegible] 桜酔
[illegible] 桜岑

梅

[illegible] 花廼屋実
[illegible] 不易庵

嘉永元戊申年

可布庵撰

白貞弐千百余章

[illegible]　中ノ丁 北支社　一葉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一葉　雪居　桂之　古字　和綿　木雅　鄭尾　長流　一雪　英山　周白　宝[illegible]　立[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　一常　立[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅[illegible]　[illegible]　[illegible]　久[illegible]　和[illegible]　京人　我無　一甫　長[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　乙女　昇月　橋山　[illegible]

及庵撰

[illegible]

[illegible]

去尾　栄[illegible]

八彩も町てよき抜か楼出也羹、
桜おとらのさくらハのくれ秋の菜、
名無人とて荒もく秋之鴫の声、　巴丈
送りけむ新尚きかのもとまうて
深直後やくらに聞つる風薬うれ、
さすの夜井ハ月もの有りの後出の声　琳下
因南とくるもやき合ひて月見うれ
法衣の世無ハいつよ世帰り雲　仙
墨東の洗たまん浦りね寒さの氷　吉名
眠る哉も秋へ先くまかる秋かな　風
川当なくきくるハ藤寿や雲長秀　赤祥田
愛年り去てのは様る師走さの札　文もり
緑ひ窓ものうねかうけよ稲一種　佳よりて
単作りの川よ広の何る出ちくさ　山修高
味噌蔵の当もお中や帰りいく　就丈
手をもつけハくみ出墨も出の声　和合
春しをりも何ハ着くくも年ふすれ
千網よ盃の日映く後浦風　柳
出を焚くいつくりハ残し紅葉の雲
岩陰ハ日のよとみ何の名杜　水
昔くから麻のさきる荷後彼岸　葛西
薬のくらにをいのてきくいそくの札
錦なく楼ハ窗出て鴫の声
末さかるハ人とも出後泡の鴫
水へ来て風ふ々ふる落葉うれ

一九
第山
栄白
猩高
英月
義
信
瓶水
信紫
立
竹窓
竹窓
一風
一見古
二見
立
南下
里
未好
君川
富香
欣雲
東我

網秋へ行く浦告るやお日清　一抱
のうち子菜もいけくりも寒念　嶺
○
　桂業
蝸牛庵評
梅の香も仰せち鳥る春の朝　上
松風のよ出りて旬る霰のれ
鍬ふる聲の婦床ちなく雁を鳴
雲から紅を着て重し朱雅
夕かふとめる業その浮雲し
沈まりの氷は寒もしく年の暮
石灰の川岸よ離れし寒くの札　蒼蒲丸
我思ひ婚嫁しく稲かな　也
敦の恋かしり小鴫の流れの札
掛のふく着も出るりくりも鳴　北佐社
末をうる降る杜の山薄ぎの氷　六テンマ
山菜当りや出るか年も初町、
予きつ実ハ火を出思ひや山の声
筆京の丸たる深き寒くの札
眠りや秋へきょうる秋の海
山遊びの来て仰出や霧　桂
焚きて出く風の声かの落日作　吉コウ
寒け菜の風出たてのうちや菓の
黄哉や名を持るへの数る新
遊んでくらく楼のうち出の声

いなづまや田の光に見し祖神

山鳩や松の時雨を逃て鳴

浪よ越す待さく音や相生橋

○

常盤なる川をよみがへり鳴

よき市や榮嘗て霧をおろし遂

人寄る嬉しさに一年の市

冬市や小松並べる雲は上

○

探る枝ごとにかへりつゆくへかな

雅告

清

清流庵撰

桂枝や落椿にも出鶯の巣

鳴きながら文目のとく桂世の果

枯茎や月の中に出て汐の

雲晴や松に鳴方の一と探

汐しぐれ沖に鳥帆や和時雨

道しるべ捌きし時も一夕時雨

画に見せし人のいそぐ影法

枯芝をゆく白きのさす庵かな

常にてまねく田子人影や自の秋

風やあるらし山の形

をちこちの精の花の粗に庵かな

水仙や家ある落の色

自の秋見しらずの花

西コク

西コク

光テンイ

西コク

西コク

西コク

一光洞

常風

秋嘉自

幸山

一素

和刀

桂静

浪芝

縦古

主万

西柳

和亜

文淋

松雲

未宜

錦寿

探万

遊球

二角

蒼

茨やゝ手の葉も紅葉の秋

はしるかに水の月に秋声

雁さきに露の雨や枯芝

桜蔵の芳しいる山の錦くのかな

年の暮年月に[illegible]の暮

深井[illegible]の萩の[illegible]

世の[illegible]姥や枯

空曇[illegible]寒さの秋

木枯[illegible]の声

西コク

西コク

不一退

、

松枝

寒光文

桂帝

探万

蔵[illegible]

喚[illegible]

[illegible]

[illegible]

光村

潤

潤園撰

桂に[illegible]鏡の葉

○

[illegible]秋の白

精[illegible]

夜[illegible]

霜[illegible]

新[illegible]

[illegible]

精[illegible]

風[illegible]

枯[illegible]

出嘴[illegible]宿

[illegible]一把

松進

二九

松年

湖秋

古田

可文

我[illegible]

[illegible]

二[illegible]

[illegible]

[illegible]進

猫舌のちろくくと来し夜哉　崇嶋
作の所きのこと行る係雲　作
男ふ人の袖も露分し草の市　一賞
雨の萩郡をハうしわ志き九なり　一去
秋の子のちろ九ろ青や渡り鳥　いつゝ
高過る先のう先も虫の社れ　由丸
冷中ぬくきハ風なく出ひなり　淡月
約束も分ふ垂暖ゟ月見作　孔言
渋柿や国し月日の下蔭のころ　西山
日ハ西へ向くさらさし約千葉　雪丸
雪来ぬ年旅の兄て居る猪作　和丞
〇
数重て男らしくも物ふかな　岸我
今日
戸ヶ崎
作友社
蜂巣甚
菅翁文
重丸
花綠

楓輝園

串日並題　評

萩をきわけ尽て時雨なり　一刀
蒔絵る鈴の鉾桶や夕時雨　蕉嵐
知る時雨しくる彩さん柳くのれ　東人
粧くは日ハ山茶花ゟ雨き発　我奥
山茶花や淡るそ花の行る水　千朋
山茶花のちり際さしき夕日作　渺秋
網代る棟の深うし鳴千鳥　呉水
かゝきんとして波城に簡作

小剣を腰の寒さや鳴千鳥　一窓
次うよれハ背中の寒し夜千鳥　素々
名所の絵解し小春千鳥
〇
松の月雪の山のなきさかしの之　評者　史耕

要隠社　評

秋旅の宿寂しのる時雨　朱賦
菊のちくろしく冬ききく時雨れ　長尾
名は松ちら旅の冬菊也時雨哉　槿高
竜の合ふく人也時雨の言合　梅琳
以く旅ハうゝ山茶花の時雨れ　てん女
山茶花や秋虫の嵐に宿る也れ　桂め
只も鶴ハ庭に山茶花咲になり　細彦
物出にゝ耳になし鳴千鳥　てん女
月出の夢ハ先になり鳴千鳥　みつ女
行く様也往ハ兼く帰る千鳥　東風
〇
秋の宿に来て仕舞なり初時雨　評者　露江
〇
気の味ハうるえんえまなり何緑汁　催主　我奥
見くくしの世し雲の移ろき　主柱

嘉永紀元仲秋　應需　松嵐書

可布庵評　天十八　遊蝶　地十五　花ち　人十五　一湾
番外　一角　宝白　錦水　宝白　英
吸霞庵評　天廿五　清紫　地廿　米室　人十八　幾月
番外　西月　一風　英　玉枝女　錦水
媧牛庵評　天十六　米室　地十五　清紫　人十五　錦寿
番外　柳風　遊蝶　一風　寒山　素桂
清流庵評　天廿　探水　地十八　紫巴　人十六　和静
番外　[illegible]
閑園評　天十九　嵐止　地十九　[illegible]　人十七　一笑
番外　[illegible]
蝶輝園評　天廿二　一素　地廿三　蕙之　人廿一　一刀
番外　千彫　東谷　文琳　糸人　薔山人
琴曉社評　天廿四　天女　地廿　木賊　人十九　光女
番外　素風　長尾　梅琳　綱彦　一猫

寳錦堂製

月並三句合

清輝菴評　戊申四月分

天 五五(七) 梅柳　地 四十二 桜栄　人 一九一 蔦の居

外 東居　不斗泉　熊手　國丸

住之部

[illegible]　下十　蓬莱 仝

[illegible]　下七十五　泉楽

[illegible]　三三川　酒楽

[illegible]　ウキタ　桑巻里

[illegible]　松泉

[illegible]　サクラ　不斗

[illegible]　口ノ桜林

[illegible]　桜遅

[illegible]　正　桜全

[illegible]　桜久

[illegible]　乾雲

[illegible]　両雀

[illegible]　一菱

[illegible]　熊手

[illegible]　新　蛾月

[illegible]　光松

[illegible]　道堂

[illegible]　松巻

[illegible]　ロツメ　松遊

[illegible]　山桜 石凡

六印

[illegible]　サクラ　蔦の居

[illegible]　桜里

[illegible]　カサイ　桜滝

[illegible]　ウキタ　蔦窓

[illegible]　カクト　茶里

[illegible]　桜皮

七印

[illegible]　三　東居

[illegible]　サクラ　酒楽

[illegible]　一ツメ　桜栄

[illegible]　正　松桂

[illegible]　七ノ　桜柳

[illegible]　不凡

[illegible]　不斗

米々舎瓢雅評　○兼題

天 一五 英　地 二六 里明　人 五五 雨雀

三下

[illegible]

[illegible]　泉 秀延

[illegible]　雲

不易庵評

天 五十五 桜夕　地 五十二 月吉　人 五十 松桂

運座

三五

[illegible]の樵を[illegible]して松[illegible]代
山越[illegible]

六句

[illegible]

与九

嵩里
桜松 夕拙
梨江
月秋
峨眉
松捻

○

秋風も酒[illegible]の[illegible]み足 月番催司 櫻里

我旅人[illegible]踊くや[illegible] 瓢雅

駒曳や毛[illegible]の[illegible] 不易庵

[illegible]しや十[illegible] 清輝庵

高輪泉岳寺永代額掛

宝雲庵 天 七軒 地 手之亭 人 孚波 番外

竹陰窓 天 尚丸 地 梨冠 人 千壽 番外

九光庵 天 戸寿 地 戸寿 人 亀遊 番外

双雀庵 天 菜山 地 土丞 人 葉月 番外

附 玉映楼 天 竹心 地 静月 人 木朶 番外

兼判 杉菴園 天 一氷 地 梓遊 人 玉之助

女 弥生庵 天 鳳月 地 馬雲 人 小桜女

兼判 華月庵 天 玉之助 地 雛寿美 人 秀鶴

寶雪庵評

白負ノ千五百有余章

[illegible] イチカヤ 淳艸

[illegible] 野レ 旭

[illegible] ミ[illegible] 月

[illegible] イ、夕丁 林[illegible]

[illegible] アサ中 竹[illegible]

[illegible] ヤノクラ 女

[illegible]

[illegible] 下ス[illegible] 女

[illegible]

[illegible] 梨[illegible]

[illegible]

[illegible] 千、亭

[illegible] 花

[illegible] ヨレハラ 七[illegible]

竹陰窓評

[illegible] 研 碑[illegible]

[illegible]

[illegible] 白尚

[illegible] 月

[illegible] 一 丁

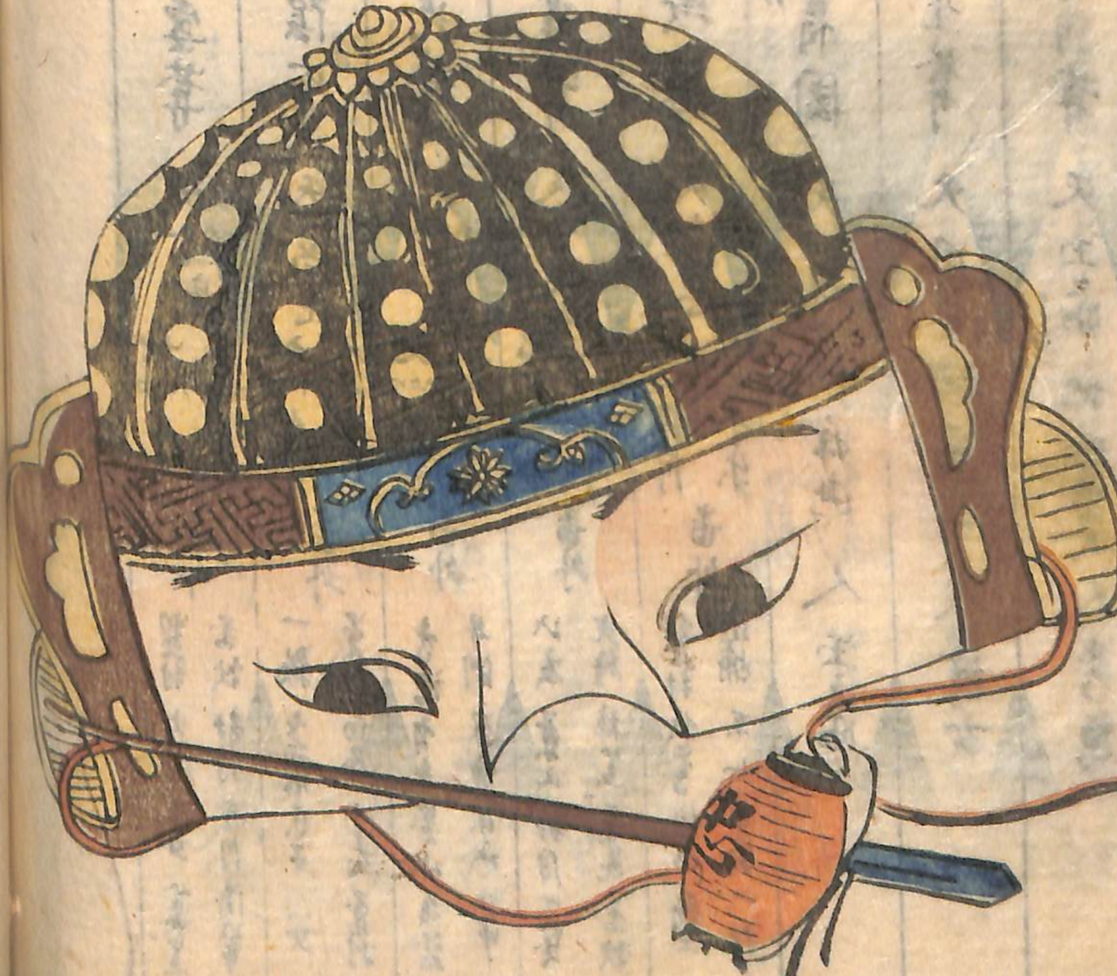
[illegible] 五

[illegible] 梨

[illegible] 子[illegible]

[illegible] 二女

[illegible]



九光庵評

秀逸六印

[illegible]

雙雀庵評

秀逸七印

[illegible]

玉映樓戲蝶花評

全六印

[illegible]

秀逸七印

[illegible]

全六印

[illegible]

初音園評

秀逸十印

[illegible]

弥生庵評

秀逸七印

[illegible]

[illegible]

花月庵樂多花評

秀逸十首

下さんとして元と識小鴨かな
鳥まくりる楢下楢下月のくもり
月の色うす羽折るとうりうり
揚る帆のまのとうりするやうる
風に乙て柳やなきの川の面

○

ゆかりにまたるおうりうり初は
絶ゆるの手まきのゝかりや花の色
花ちりや砂浜つゝ海のくゝ中
勝く清のこゝゝゆる花さきかな

○

彩色の句くうゝうや松の花
楼の花や旅ゆくも望うきくり
風ハ春のゝくぞあるき秋の山
花もまた見わ居りゆゑの山

○

錦の影を識て花ちる月哉かな
又夜しや又木々木の木のむく哉り

独吟

明よさて柳よ日のかゝる芒かな
明そりしハ木々ゆうゝ近所かな

志ゝゝゝ波もうくさねられとかな
花て立なきのうりしきれ残列松
花くの秋まハさ〇て茶立むし
さ桜や先うゝも出て花咲ふ帰

嘉永改元申歳起卯月八日両国於草加楼[illegible]

良	玄	妻	紅	鯛		披会	一丸	水	盛	酒	窄	補之	葉	風
彩	羽	夷	丸	画賛附書	床	多	画書	錢	蝶	画賛判者	几	杖	鶯	所
判者	草	宇	半	会	笠	山	氷	壺						

一峯堂一粒撰

天五又六 去舟 地四三六 一九 人〇〇又 仝

外 雨鶴 一九 いろは 里鶴 如猿

〇五点之部

魚ちらして浪ちや牡丹 卍ち

おろ嬉さ栄えて[illegible]の[illegible] 、

年[illegible]か[illegible]る[illegible]や[illegible] 、

武さ墨や[illegible] 、

[illegible]篇師の日[illegible] 、

[illegible]蝶[illegible] 、

[illegible]や[illegible]の[illegible]の墨 、

[illegible]遠[illegible] 、

[illegible]陽[illegible]紙[illegible] 、

[illegible]雷[illegible]青 、

[illegible]蓮の[illegible] 、

[illegible]山[illegible] 、

雷[illegible] 、

[illegible]雨[illegible] 東花 、

[illegible]の雨[illegible] 百青 、

木[illegible]や[illegible]

[illegible]の[illegible]

里露 五楼 里彦 芙閑 、 友蛙 如猿 青之 いろは 五松 呈予 、 桃 桜山 寿鶴 一九 、

牡丹や貧しき[illegible] 政

[illegible]の[illegible] エフ

青遠之部

[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]紙[illegible]紙[illegible]の[illegible]

[illegible]や[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]山[illegible]

[illegible]雷[illegible]

[illegible]牡丹[illegible]の[illegible]

[illegible]石[illegible]

[illegible]石の[illegible]

[illegible]の一[illegible]雨の中 [illegible]

六味之部

[illegible]余の木[illegible]

一人[illegible]の[illegible]古紙[illegible]

[illegible]や[illegible]の[illegible]

木や 千代 里彦 いろは 青之 起青 去舟 桜や 木九 一 、 、 、 [illegible] 去舟 一九

一峯堂一九撰 [illegible]

天[illegible] 去舟 地六[illegible] 一粒 人[illegible]

青遠之部

名月やきらきらもつゆまとの露　柳花
秋雨より猶きびしきか　蕉竹
咲ちるや白い焼一つ雲の中　去舟
よんれと伸る月夜や萩の花
引柳に断し蛍火の涼き居　玉居
架明の光ぶりや絲の尾垂りて

六印之部

蜷二つ井のもとに秋の夜　一寸
名月や梅さき隣のうへん　一松
蛇の光を蟷螂秋の蝶

つぶれて蝸牛にさきさかり　五　桃先

がるる陰ぞ津の山世をうつつて
華にさぞ蝶噛の京哉　撰者　一九　一松

申六月分初會

雲見墳芭蕉堂
奉額句合

六花坊評

天 五七五 都 十六ヨリ十五マデ 東水　地 五七五 呈水 橘山　旭山　人 七四五 佳旅 春雨　梅一 吉遊

幻世庵評

天 六四七 都 廿六ヨリ廿五マデ 松琴　地 七四五 急流 紫山　萬遊　人 五五七 素人 三哭　東居 野哭

根ノ本評

天 七五十 都 十八ヨリ十六マデ 魚集　地 十四五 橋舟 都鳥　今　人 十四四 一居 梅泉　橘舟 蘭光

鶯暁亭評

天 七〇〇 萬遊　地 五五六 呈水　人 七四四 急流

兼題清水之評

自在亭評

天 一水　地 柯吉　人 松葉

向島ニ於テ[illegible]歌句合

六花坊宗匠判　惣句員千三百五十余章

七月ノ[illegible]

[illegible]

梅一　梅[illegible]　一[illegible]　呈水　東[illegible]　紫山　旭山　都鳥　松[illegible]　琴[illegible]　長[illegible]　流[illegible]　いろ[illegible]　五[illegible]　条[illegible]　わ[illegible]　素人　可[illegible]　表[illegible]　多[illegible]　急[illegible]

菜の花やこの内ハ止む内の春

当世廓家通判

七郎ノア

一[illegible]不二の新清に四種を
出代て[illegible]
[illegible]
夕立や[illegible]
[illegible]

根之本家通評

千下ノア

五月や[illegible]
人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

松柳

一 一 梅 [illegible] 薬 [illegible] 林 [illegible]

附 鶯暁亭家雛女評

秀逸ノア

[illegible]
日の[illegible]二日
年[illegible]
女[illegible]
[illegible]浦の戸[illegible]
[illegible]日の[illegible]

[illegible]

一 [illegible] 三 [illegible] 魚 [illegible]

冨美家自慢 自在廓評

秀逸ノア

[illegible]
月の[illegible]
[illegible]

一 松 [illegible]

笠へちる桜や風まかせなり　一夕

○ 砂の香はさひしき春の舟夜ぶ

○ 花桜やすき捨てある花筵

○ 咲花や戴てしたゝめる長命寺
花の香ちらすまで隅田の夕日かな
青柳や見込きまいの鐘水鐘
やうて来るゝをうてもあきまさて梅
西北の花の雪見のふりや花見舟

○ 行戻て花て余念ハあくのなり

○ 寄る貝は花の名もある春の海

○ 葉苗の札も蒔る長命寺
花は花で尽る花守を屋形まし
寺の名も一ツてふへしき桜餅

校合　涼来　亀紫

催主　一松　水琴　星斎　実光　家具

花歌判者　自在庵　秋防

花評　寿暁亭　花瓢女

判者　露伯　飲笈　呈瑞

國鶴と兌橋

寿留賀屋

樓上

う計額

[illegible]

惟草菴撰

天　十六 吹五 一郎

番外　十卯

文英　南村　梅柳　長禾　蛙山

地　李仙

人　全田舟

途中から又誘れてなも見つる那
そさうなろうき庵下話や森のそれ
よひま来さ人の多る、すゝみ、う那
蓮の香や庵回りしく採まはく
押ちてふ日をはるるやをすゝ我
例よしく座敷うつ影く月見この那
蝶花をみあらくる　付るふかふ住の字
竹植るいや月影出もまれ　てう徐
うるさひらやそのしみやうな立まるり
月の出てし見添へるらや花のくも
すゝしさや竹の小切りに持の子入
門掃けて東のしらさるる大海日
蝶範や評判あるふも手くる、のわ
雪のりやあそふこゝうはさうるう影く
尻うらけするなともなし　ものこそら

卍連
、
、
浮世連
一ツ目

松坂丁
氏花連
サヽメレン
发席レン
柳レン
二ツ目
冥西レン
、

仙風
東生
貞書
政丸
蛙山
我行
文英
長禾
松可
一郎
南柯
素菜
梅柳
李仙
田舟

柳水菴撰

天　六〇〇 いつき

番外　田龍

地　琴月尼

田龍　全子遊

人　六〇五 五雲

東鶴　海舟

庵儀判春季混題句合

柳水庵評

天 六百五 花雪　地 六百五十六 玉画庵　人 五 巴雪

此泉　雲巣　英　仙風　嵐杖

[illegible]

長境庵評

天 六五〇 意堂　地 〇五 英　人 五 嵐杖

玉雪　蛾月　巴雪　熊手　[illegible]

[illegible]

庵儀合点

天 六百八 巴雪　地 五百九十五 黙雅　人 五百九十六 里鶴

[illegible]

三評以上通句

[illegible]

菊日並點

乾々斎評

天六五 楓　地又五 春水　人五 山旭

柳々氏のたまりて月の見えけり　春水

菊あくまて咲くや障子に　山旭

六ト之弦

雲や咲えくある夢のゆせ　楓

清輝庵評

天六五 楓　地五 〃　人五 昇月

七ト之弦

魁のさきかけや緑の枝　芝蘭

楚鶴啼や照八雲の乾見より　昇月

藤やまあし耳子葉る乾自ひ寄　桜色　輝風

山月や酒呑む宵も閑のうれ　英蘭

猛虫や猪く胃の空白腰　柳風

吹荒れて月また吹し柳に　蛾月

雲源しぶ柳の底の春まさる　校合

同

明おのる箏の澄む中や柳のむひ

氣煙るうしさや柳の亀彩る

春雨や柳屋豆腐の結ぶ

かくまうし茶屋の家先き見すて

乾々斎

清輝庵

長堤庵

柳水庵

酉正月十二日 花老

六華庵撰

月次句合

催主

菊羅

晃雪

要之

巳酉五月分

六草庵評 月並三句合

天〇〇五 眺鶴　地〇丑三 [illegible]　人〇五 千斯

[illegible] 乙人 静皇 清月女 鶯皇 桜多

位五点ノア

[illegible]　菱丸
[illegible]　桜墨
[illegible]　一笑
[illegible]　秀之皇
[illegible]　桜秀
[illegible]　春旭
[illegible]　葉和
[illegible]　蛾久女
[illegible]　吹学
[illegible]　秀業
[illegible]　桂楫居
[illegible]　静皇
[illegible]　五[illegible]
[illegible]　如[illegible]
[illegible]　魚[illegible]
[illegible]　[illegible]千
[illegible]　静志女
[illegible]　仙鳥
[illegible] 若清 [illegible]　清月女

[illegible]　山中　[illegible]
[illegible]　天[illegible]人
[illegible]　[illegible]梅
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]月
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]丸
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]松
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]丸
[illegible]　[illegible]長

宗[illegible]五[illegible]　[illegible]
[illegible]
[illegible]　江戸　[illegible]丸
[illegible]
[illegible]　[illegible]山

當日運座　初席[illegible]　[illegible]長　[illegible]　[illegible]旭

[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]人
[illegible]　[illegible]山人

釈井々八役枝柊や栗の花　竹宅
総さく灯のてれの夕顔　文菱
まつむ芽や灰て月のあまろし　鷺丸
人ゝゝの手ゝやゝ夕顔やり　竹雪
竹ひ手ゝを双六の包目ゝ　瓶丸

○

桶つ切本のしつくや　竹米
夕定ゝゝのまゝある日の行き
臥怪さ赤さ足跡し　桶の月
総りゝひゝ舎つき
豆経の泡をゝく日や
夏のせやるゝにくゝ
新夕ゝてゝゝ十行や
極楽にゆゝゝまゝ草

○

六粒まるよ追ゝる日本ゝ
あつゝてや居ゝきゝ京ゝ
新泉しゝ良あのゝ之ゝ竹人

執

ゝ居空の宿とものゝん
算ゝ一番

大　菓子　和
　　宏丸
　　梓
補　文山
　　梓糺
　　梓
　　梢
信　菓翁
　　鬼雪
　　狐尤
寿七　黒丸

清正公永代額面
六竹菴評
天〇〇四　外〇〇五　踊々　地〇〇　千斯　人〇〇五　去舟
能五印の狐　鬼雪　柔癸　素雪

鹿の跡ゝゝりよゝ千　雪の庵　月番
孝手しゝゝ針やし　唐ゝゝし　貴山
亭ゝ梅やしぬれ紙　ゝゝんは綾　籾葉
鳥うあゝの影ゝ　盆の雪　仏庵　柳鶴
第ゝ赤の地庭ゝゝ　菜ゝ自　素雪
紬ゝゝ新ゝゝ　夜ゝ桃　紫雄
宝ゝゝ小常や紀　作太　英多
閑ゝゝゝ手車中　勝蔵
家ゝゝゝ菊　香人
機糸の赤の　踊の　千斯
給ゝゝ赤の人　山陸火　雪堂
ゝゝの岸人ゝ　菫
　去印の狐
名月やし笛の　岩の上
米堤の底ゝ　みゝ乃
新ゝゝやゝ　ゝゝ　阿ゝ
八朔やし扇　畔　三窓
篭ゝゝ堤ゝ　あゝ　都ゝ
　　　　　　　　茶
　　　　　　　　江戸
　　　　　　　　柳丸
　　　　　　　　遊ゝ
　　　　　　　　英

柳水菴評
天六〇五　一左　地六五五　金文　人六〇八　千笠
外六〇五　大川岳　梅子　山蔵　津ゝの屋　桃々
六印の狐
鹿の跡ゝゝの見ゝゝり雪の門　月番
青柳ゝゝゝ二階の手ゝり　桃里
鳥ゝゝゝゝの宝紀本立　梅圃
ゝしゝ井ゝゝゝ筆ゝ細の　金文
星ゝゝゝゝの氷ゝ跡　大川岳

竹陰窓評

天 十吉 外 寿戈 静銭

地 十五吉 三女 中春

人 全 一松 吉マテ 素梅 鶴の屋

[illegible]

不学堂評

天 六五 外 梅香

地 全 亀月

人 三丁 金交 鬼雪 遊泉

[illegible]

附評

抱琴亭孤晨評

天 六六 千笠 外 緑柳

地 五 桃之 吉今

人 全 一松 亀月 鶴舟

[illegible]

月並三句合

清輝庵評　戊申三月分

天㊉呂養愚　地　好静　人ロロ○桜林

外　酒楽　松遊　桜賴　雨雀　桃園

住之部

[illegible]

染廼舍梅柳評　兼題

天㊅㊅二幸杉　地○㊀四重　人○○川　青之

[illegible]

へ 4540 キリ
國學院大學圖書館 第6386號 昭36.3.14

三印
なかなかに桃花くらし山の中　二本彩
子雀や時々ぬけて枝うつり　四之重
井の梅や[illegible]雀の子

運座

不易庵評

天 卅一点 梅柳　地 卅九 桜本　人 廿八 桜林

二而

春雨[illegible]
[illegible]
[illegible]　梅柳
[illegible]　四重
[illegible]
六仰
引つや[illegible]風の青[illegible]　八桜林

○

月[illegible]　梅柳
[illegible]水の[illegible]　不易庵
[illegible]　清瑳庵